区分	臨床·基礎分野	授業科目名	ſ	侖理学	単位数	1
対象学年	1年生	開講時期	前期・	後期 · 通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	今村 文章	実務経験(実務経験内容	病院に34年(計39:	年勤務)。その間 、副会長等を務め	り、各種医療団体や
段業の目的・ ンプライアン と業の概要・	スを含めた医療にお	ける倫理観の醸	. 戏。	成績評価の方法 出席、グループ討 記試験で評価する テキスト・参考資料	0 o	き慮し、最終的には
	解説を交え、各論に こよるディスカッション			医学書院発刊の3	3250ケースブッ	ク(医療倫理)
		授業	計画	•		講師
5 1講 序:	人文科学とは・倫理	とは、倫理に関す	る歴史			今村 文章
	・の医の倫理 ヒポク					今村 文章
	の医療倫理 緒方		•			今村 文章
	ネーブ宣言など	717-5				今村 文章
	インション ひこう かこう インファイン インファイン インター インター インター インター インター インター インター イン				,	今村 文章
	、情報保護法につい				,	今村 文章
	「ハラスメントについ				,	今村 文章
	聚現場における想定				,	 今村 文章
	<u> </u>		イによる休騒)			 今村 文章
7 0 時 区 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		可皮(ロールンレ	11000日刊以			 今村 文章
7 1 CH-5 1 1/H	1					
					I	
						_

区分 臨床·專門基礎分野 授業科目名 解剖学 単位数									
— 区ガ ———	端床·専門基礎分野	授耒 件日名				甲位致	1		
対象学年	1年	開講時期	(前期・	後期 · 通年	講義形態	(講義) 実習		
担当教員名	西 啓太	実務経験	有 無	実務経験 内容	理学療法士として民 長崎大学歯学部に 当している。	₹間病院での実 おけて解剖学の	務経験を有する。 D講義および実習を担		
受業の目的・	目標				成績評価の方法				
正常な人体(う。授業を通じ こなることを目	の基本構造について理 こて、各系統を構成する 目標とする。	里解することを 3器官、構造物	主眼に	受業を行 lできるよう	定期試験および摂 に評価する。	受業中に行う小	テスト等により、総合的		
受業の概要・	授業方針				テキスト・参考資料	"			
	・心に授業を進めていく かせないので、プリン いく。				最新 臨床検:	査学講座 解部	引学(医歯薬出版)		
		授	業計画				講師		
1. 解剖学総詞	侖						西 啓太		
2. 骨格系1(r	骨学総論)						西 啓太		
3. 骨格系2(:	全身の骨の名称と配置	量)					西 啓太		
1. 骨格系3()	主要な骨格の詳細な構	造)					西 啓太		
4. 骨格系3(主要な骨格の詳細な構造)							西 啓太		
	骨の連結)						四 啓太		
5. 骨格系4(*							西 啓太		
5. 骨格系4(r 6. 筋系1(筋 ⁵ 7. 筋系2(頭 [§]	学総論)								
5. 骨格系4(* 6. 筋系1(筋 7. 筋系2(頭	学総論)						西 啓太		
5. 骨格系4(f 6. 筋系1(筋 7. 筋系2(頭 3. 筋系3(胸	学総論) 頸部の筋) 部・腹部・背部の筋)						西 啓太		
5. 骨格系4(f 6. 筋系1(筋 7. 筋系2(頭 3. 筋系3(胸 9. 筋系4(上	学総論) 頸部の筋) 部・腹部・背部の筋) 肢の筋)						西 啓太 西 啓太 西 啓太		
5. 骨格系4(f 6. 筋系1(筋 7. 筋系2(頭 3. 筋系3(胸 3. 筋系4(上 10. 筋系5(T	学総論) 頸部の筋) 部・腹部・背部の筋) 肢の筋)						西 啓太 西 啓太 西 啓太 西 啓太		
5. 骨格系4(f 6. 筋系1(筋 7. 筋系2(頭 3. 筋系3(胸 9. 筋系4(上 10. 筋系5(T 11. 脈管系1	学総論) 頸部の筋) 部・腹部・背部の筋) 肢の筋) 下肢の筋) (総論、心臓1)						西 啓太 西 啓太 西 啓太 西 啓太 西 啓太		
5. 骨格系4(f 6. 筋系1(筋 7. 筋系2(頭 3. 筋系3(胸 3. 筋系4(上 10. 筋系5(T 11. 脈管系1 12. 脈管系2	学総論) 頸部の筋) 部・腹部・背部の筋) 肢の筋) 下肢の筋) (総論、心臓1) (心臓2)						西 啓太 西 啓太 西 啓太 西 啓太 西 啓太 西 啓太		
5. 骨格系4(f 6. 筋系1(筋 7. 筋系2(頭 8. 筋系3(胸 9. 筋系4(上 10. 筋系5(T 11. 脈管系1 12. 脈管系2 13. 脈管系3	学総論) 頸部の筋) 部・腹部・背部の筋) 肢の筋) 下肢の筋) (総論、心臓1) (心臓2)						西 啓太 西 啓太 西 啓太 西 啓太 西 啓太 西 啓太		

	ı	ı	1				1		
区分	臨床•専門基礎分野	授業科目名		微	生物学	<u> </u>	単位数	1単	位
対象学年	1年生	開講時期		前期・	後期	• 通年	講義形態	講義	実習
担当教員名	横溝 勝	実務経験	有無	実務経験 内容	国立如 国立和	長崎長崎中央病障 喜野病院 9年 小倉病院 2年 物検査に従事	完 1年6カ月		
授業の目的・	目標	<u> </u>			成績	評価の方法			
	、生理と機能など基礎・人との関りを学んでし		学び理解	弾する 。	定期記	试験∙出席点			
授業の概要・	受業方針				テキス	くト・参考資料等			
教科書を中心	にミニテストを交えなた	がらすすめてい	いく。		最新 出版)	塩床検査学講座	微生物学/區	临床微生物 学	生(医歯薬
		授	業計画					講館	师
第1回 微生	上物とは 微生物の歴!	史•分類						横溝	勝
第2回 細菌	菌の形態と構造							横溝	勝
第3回 細菌	菌の観察法と染色法							横溝	勝
第4回 細菌	動の代謝と発育 ニュー							横溝	勝
第5回 細菌	菌の発育と培養							横溝	勝
第6回 細菌	園の培養法 ニュー							横溝	勝
第7回 細菌	歯の同定							横溝	勝
第8回 遺伝	云・変異と遺伝子診断							横溝	勝
第9回 滅菌	歯および消毒							横溝	勝
第10回 化	学療法							横溝	勝
第11回 化	学療法とワクチン							横溝	勝
第12回 正	常細菌叢とその変動							横溝	勝
第13回 病	原性と抵抗力							横溝	勝
第14回 バ	イソセーフティ・医療関	連感染						横溝	勝
第15回 細	菌検査の精度管理・愿	<u> </u>	規					横溝	勝

区分	臨床•専門基礎分野	授業科目名		情報科学	単位数	1
対象学年	1年生	開講時期	前期・	後期 • 通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	船津 由季子	実務経験	有·無 実務経順 内容	険 コンピュータ専門学 定・国試対策などを	校等において、 受け持った経験	. 情報処理の授業、検 験あり
授業の目的・	目標	1	<u> </u>	成績評価の方法		
・情報活用試 ・情報処理の ・国家試験対策	基礎能力をつける			定期試験評価 課題提出		
授業の概要・	授業方針			テキスト・参考資料	等	
	用し、一般的な情報処: などを使用し、ポイント			情報活用試験3級もおよびプリント、過ぎ		
		授	業計画			講師
						かき もそっ
*科目説明、						船津 由季子
*メールアドレ						船津 由季子
第1章 パソニ						船津 由季子
第2章 ネット	<u>ケーク</u> ケーションソフトの利用					船津 由季子
	<u>けーフョンファの利力</u> 社会とコンピュータ	1				船津 由季子
<u> </u>	IACAJEI J					

区分	臨床·専門分野	授業科目名		一般	検査学実	習	単位数		2
対象学年	1年生	開講時期	(前期・	後期 •	通年	講義形態	講義	実習
担当教員名	坂口 みどり	実務経験	有無	実務経験 内容	検査セン	ンター勤務行	後、学校職員		
受業の目的・	目標				成績評	価の方法			
基本的な実習	技術の習得と検体の!	取り扱い方			期末試	験			
受業の概要・持	受業方針				テキスト	··参考資料	·等		
楽しみながら耳	について学ぶ。技術を 双組むように促す。受り 味を持てる授業展開	引にならない。				出版 最新 査学講座「-	一般検査学」		
		授	業計画					詔	節
第 1回 基本	的な器具の操作につ	いて						坂口	みどり
第 2回 基本	的な器具の操作につ	いて						坂口	みどり
第 3回 混濁	弱尿の鑑別[自己尿に	て実施]						坂口	みどり
第 4回 尿p	H[試験紙法の原理に	ついて実習]					坂口	みどり
第 5回 尿片	之重[浮秤法、屈折計》	去、試験紙法	の原理に	ついて実 [?]	習]			坂口	みどり
第 6回 尿蛋白定性検査法[煮沸法、パーディー法]							坂口	みどり	
第7回 尿蛋	負白定性検査法[スル :	ホサリチル酸	法、ヘレ	ル法、ロバ	一卜変法]		坂口	みどり
第 8回 尿蛋	6百定性検査法[試験	紙法の原理に	こついて	実験]				坂口	みどり
第 9回 尿蛋	黃白定量検査法[KC法	、マイクロTP	(ピロガロ	コールレッ	ぶ)法]			坂口	みどり
第10回 尿糖	定性検査法[ベネデ	ィクト法、ニー	ランデル	法]				坂口	みどり
第11回 尿糖	定性検査法[試験紙	法の原理につ	ついて実習	習]				坂口	みどり
第12回 尿糖	定性検査法[ソモジー	-法]						坂口	みどり
第13回 尿ケ	トン体検査法[ランゲ	法、ロテラー・	•吉川変》	去、レガー	ル法、試	験紙法]		坂口	みどり
第14回 尿ビ	リルビン定性検査法[ロザン法、ハ	リソン法	、ワトソン・	ホーキン	ソン法、イク	ウトテスト]	坂口	みどり
	ロビリン体検査法 ン=ワーレスダイヤモ	:ンド法)、ウロ	ロビリン体	=シュレー	-ジンガー	-法(自己尿	で実施)]	坂口	みどり

区分	臨床·専門分野	授業科目名		臨床	検査総論	単位数	1
対象学年	1年生	開講時期	(前期・	後期 • 通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	坂口 みどり	実務経験	有無	実務経験 内容	検査センター勤務	後、学校職員	
授業の目的・	目標	<u>l</u>			成績評価の方法		
基本的な手技	と検体の取り扱い方				期末試験		
授業の概要・	授業方針				テキスト・参考資料	鸟等	
板書を中心に 受身にならなり 開としたい。	国家試験問題にも取り ハようディスカッションも	り組む。 も取り入れ、卵	具味を持つ	てる授業展	医歯薬出版 最新臨床検査学講座「	一般検査学」	
		授	業計画				講師
第 1回 オリ	リエンテーション+尿の	生成について	C				坂口 みどり
第 2回 尿	基礎知識(生成、採尿)	時間・方法に。	よる分類)			坂口 みどり
第 3回 尿1	色調・赤色尿の鑑別①)					坂口 みどり
第 4回 尿1	色調・赤色尿の鑑別②)					坂口 みどり
第 5回 尿1	色調(小テスト)・解説(D					坂口 みどり
第 6回 混	蜀尿(小テスト)・解説②	2、尿蛋白基础	楚知識				坂口 みどり
第 7回 尿p	h・浸透圧(小テスト)・	解説①					坂口 みどり
第 8回 尿	H・浸透圧(小テスト)・	解説②、臭気	ī				坂口 みどり
第 9回 分	光光度計の原理につい	いて					坂口 みどり
第10回 尿料	糖について						坂口 みどり
第11回 糖原	尿病について						坂口 みどり
第12回 尿蛋	<u> 蛋白(小テスト)・解説(1</u>	D					坂口 みどり
第13回 尿至	<u> 蛋白(小テスト)・解説②</u>	シ、尿ケトン体					坂口 みどり
第14回 尿料	唐・ケトン体(小テスト)	-解説①					坂口 みどり
第15回 尿料	唐・ケトン体(小テスト)	-解説②					坂口 みどり

区分	臨床·専門分野	授業科目名	検査	機器総論	単位数	1単位
対象学年	1年次	開講時期	前期・	後期 • 通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	諸隈博	実務経験(有無 実務経験 内容		顕微鏡装置等	的な経験があり、化 の基礎的な原理を理 。
する。 ②実際	 目標 な機器や装置に関す 	いることで原理や			 诶	
あらためて写 D代表が修得	授業方針 原理および取扱いに 実習を行なう。 ②実習 する。そしてその代表 す。③また、国家試験	習内容について ₹を中心に実習	は、あらかじめ班 することで充実し	テキスト・参考資料 ・最新臨床検査学 ・講師作成資料	講座 検査機器	総論/医歯薬出版
		授美	集計画			講師
第1回 検査	機器学総説(単位)	A. 化学容量	器			諸隈 博
第2回 B. 和	平量装置 C. 遠心乡	}離装置				諸隈 博
第3回 実習	゜(天びん、遠心分離	装置)				諸隈 博
第4回 D. 分	分離分析装置					諸隈 博
第5回 E. 批	覺拌装置 F. 恒温装	美置 G. 保冷	装置 H. 滅菌物	置		諸隈 博
	"(撹拌装置~滅菌装 [。]	置)				諸隈 博
第6回 実習						諸隈 博
第6回 実習 第7回 I.測分	尤測疋装直					=+ n= 1+
第7回 I.測>	光測定装直 頁微鏡装置 1)					諸隈 博
第7回 I.測分						諸隈博
第7回 I.測 第8回 J. 第9回 J.	頁微鏡装置 1)					nn.r
第7回 I.測 第8回 J. 顕 第9回 J. 顕 第10回 実習	頁微鏡装置 1)	水製造装置				諸隈博

区分	臨床•専門分野	授業科目名	情報処理技術実習 単位			単位数	1
対象学年	1年生	開講時期		前期・	後期 • 通年	講義形態	講義(実習)
担当教員名	船津 由季子	実務経験	有-無	実務経験 内容	コンピュータ専門学校等の授業、検定対策など		
授業の目的・	目標				成績評価の方法		
Excelの基本操作を習得する					定期試験評価課題提出		
授業の概要・持	受業方針				テキスト・参考資料等		
テキストを使用	引し、操作解説を行う		これでわかるWordとExcel2013				
			坐計画				護師

		授業計画	講師
第1章	Excelの起動	起動、セル、ワークシート、ブックなど	船津由季子
第2章	表の作成	データ入力、修正、削除、数式入力、関数、オートフィルなど	船津由季子
第3章	グラフの作成	集合グラフ、凡例と横軸の入れ替え、グラフの移動など	船津由季子
第4章	印刷と保存	プレビュー、設定、保存など	船津由季子
第5章	分析入門	条件付き書式、スパークライン、テーブル、並べ替え、 抽出、ピボットテーブルなど	船津由季子
第6章	表の作成に関する テクニック	書式設定、オートフィル、セル・行・列操作など	船津由季子
			+

対象学年		臨床·基礎分野 授業科目名 社会学 以		単位数	1	
	1年生	開講時期	前期 •	講義形態	講義・実習	
担当教員名	今村 文章	実務経験(有無 実務経験 内容	病院に34年(計39:	年臨床検査技師 検査技師会副会	、健康保険諌早総合 うとして勤務)。 会長等を務め、各種日
	1標 5寮の専門士なるにあ 医療制度)や心構え1			成績評価の方法 出席状況、レポート	、の提出、期末記	式験等による。
	8業方針 するが、補足も交える 士の議論も取り入れ <i>た</i>		資料による授業と	テキスト・参考資料 教科書に準拠する		5用する。
		授訓	集計画			講師
第1回 医	療の歴史と医療制度	の歴史				今村 文章
第2回 医	今村 文章					
第3回 社	今村 文章					
第4回 日	本の医療費、医療費	の流れほか				今村 文章
第5回 医	療機関を受診したと	きの医療費の	土組み「出来高払し	ヽ」・「定額払い」		今村 文章
第6回 高	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	診療制度ほか	\			今村 文章
第7回 年	金保険、介護保険、	雇用保険、労災	災保険、社会保険	etc		今村 文章
第8回 医	療従事者とその役割					今村 文章
第9回 薬	害・誤診等に関する	諸問題				今村 文章
第10回 夢	・これからの医療(未	:来医療)				今村 文章

担当教員名 藤田 修一 実務経験 内容 実務経験 内容 実務経験 内容 「長崎大学熱帯医学研究所で病理解剖を行っていた。 在、長崎大学病院で、病理組織診断・細胞診業務に たて、長崎大学病院で、病理組織診断・細胞診業務に わっている。	区分	臨床·専門基礎分野	授業科目名	有	病理学	単位数	1
世出当教員名 藤田 修一 実務経験 本無 実務経験 内容 たっている。 「大きないのではない、共通する基本的な病態にして、臓器ごとの疾患ではない、共通する基本的な病態にとして、臓器ごとの疾患ではない、共通する基本的な病態にとして、臓器ごとの疾患ではない。大きなのでは、大きの事理学的変化を学ぶ。これらの基本的変化はな中次の病理学等での病理学等を治能にもつながるので、しっかり学習する。 「大きないの病理学を治論として、臓器ごとの疾患ではない、共通する基本的な病態にとして、臓器ごとの疾患ではない。大きないなの、中で、中で、中で、中で、中で、中で、中で、中で、中で、中で、中で、中で、中で、	対象学年	1年生	開講時期	前期(後期・通年	講義形態	講義・実習
病理学は「病気」の解明に科学的に取り組む学問である。この科目 は病理学総論の授業を行う。疾病の原因・発生機構・病態・予後を 包括的に理解することを目的とする。 受薬の概要・授業方針 病理学総論として、臓器ごとの疾患ではなく、共通する基本的な病 意ごとに、その病理学的変化を学ぶ。これらの基本的変化は2年次 の「病理検査学」の病理学名論にもつながるので、しっかり学習すること。授業では、各種病変の肉眼像・顕微鏡像(組織像)も提示しながら進める。 授業計画	担当教員名	藤田 修一	実務経験(在、長崎大学病院	研究所で病理解で、病理組織診 で、病理組織診	解剖を行っていた。現 断・細胞診業務に携
病理学総論として、臓器ごとの疾患ではなく、共通する基本的な病態ごとに、その病理学的変化を学ぶ。これらの基本的変化は2年次 医療子学生のための病理学 第4版 講談社 を考書: 松原修 他 臨床検査学講座「病理学/病理と、授業では、各種病変の肉眼像・顕微鏡像(組織像)も提示しない。	病理学は「病 は病理学総論	気」の解明に科学的に 部の授業を行う。疾病の	原因•発生機構	ある。この科目 ・病態・予後を			
第1回 病理学概説、病因論 藤田修一第2回 先天性疾患、遺伝病 藤田修一第3回 細胞・組織障害(1) 藤田修一第4回 細胞・組織障害(2) 藤田修一第5回 物質代謝障害 藤田修一第6回 修復と再生 藤田修一第7回 循環障害(1) 藤田修一第8回 循環障害(2) 藤田修一第9回 循環障害(3) 藤田修一第10回 炎症(1) 藤田修一第11回 炎症(2) 藤田修一第11回 炎症(2) 藤田修一第11回 炎症(2) 藤田修一第11回 炎症(2) 藤田修一第11回 炎症(2) 藤田修一第11回 炎症(2) 藤田修一第11回 免疫と免疫異常(2) 藤田修一第13回 免疫と免疫異常(2) 藤田修一第13回 免疫と免疫異常(2) 藤田修一第14回 腫瘍(1)	病理学総論と 態ごとに、その の「病理検査*	して、臓器ごとの疾患)病理学的変化を学ぶ 学」の病理学各論にも	。これらの基本に つながるので、し	的変化は2年次 いつかり学習する	教科書: 中村仁志 医療系学生のため 参考書: 松原修 f	また、佐藤達資、 の病理学 第4版 也 臨床検査学講	講談社
第2回 先天性疾患、遺伝病 藤田修一 第3回 細胞・組織障害(1) 藤田修一 第4回 細胞・組織障害(2) 藤田修一 第5回 物質代謝障害 藤田修一 第6回 修復と再生 藤田修一 第7回 循環障害(1) 藤田修一 第8回 循環障害(2) 藤田修一 第9回 循環障害(3) 藤田修一 第10回 炎症(1) 藤田修一 第11回 炎症(2) 藤田修一 第13回 免疫と免疫異常(1) 藤田修一 第13回 免疫と免疫異常(2) 藤田修一			授業	計画			講師
第3回 細胞・組織障害(1) 藤田修一 第5回 細胞・組織障害(2) 藤田修一 第5回 物質代謝障害 藤田修一 第6回 修復と再生 藤田修一 第7回 循環障害(1) 藤田修一 第8回 循環障害(2) 藤田修一 第9回 循環障害(3) 藤田修一 第10回 炎症(1) 藤田修一 第11回 炎症(2) 藤田修一 第12回 免疫と免疫異常(1) 藤田修一 第13回 免疫と免疫異常(2) 藤田修一 第14回 腫瘍(1) 藤田修一	第1回 病理学	·概説、病因論					藤田修一
第4回 細胞・組織障害(2) 藤田修一 第5回 物質代謝障害 藤田修一 第7回 循環障害(1) 藤田修一 第8回 循環障害(2) 藤田修一 第9回 循環障害(3) 藤田修一 第10回 炎症(1) 藤田修一 第11回 炎症(2) 藤田修一 第12回 免疫と免疫異常(1) 藤田修一 第13回 免疫と免疫異常(2) 藤田修一 第14回 腫瘍(1) 藤田修一	第2回 先天性	<u> </u>					藤田修一
第5回 物質代謝障害 藤田修一 第6回 修復と再生 藤田修一 第7回 循環障害(1) 藤田修一 第8回 循環障害(2) 藤田修一 第9回 循環障害(3) 藤田修一 第10回 炎症(1) 藤田修一 第11回 炎症(2) 藤田修一 第12回 免疫と免疫異常(1) 藤田修一 第13回 免疫と免疫異常(2) 藤田修一 第14回 腫瘍(1) 藤田修一	第3回 細胞・	組織障害(1)					藤田修一
第6回 修復と再生 藤田修一 第7回 循環障害 (1) 藤田修一 第8回 循環障害 (2) 藤田修一 第9回 循環障害 (3) 藤田修一 第10回 炎症 (1) 藤田修一 第11回 炎症 (2) 藤田修一 第12回 免疫と免疫異常 (1) 藤田修一 第13回 免疫と免疫異常 (2) 藤田修一	第4回 細胞・	組織障害(2)					藤田修一
第7回 循環障害(1) 藤田修一 第8回 循環障害(2) 藤田修一 第9回 循環障害(3) 藤田修一 第10回 炎症(1) 藤田修一 第11回 炎症(2) 藤田修一 第12回 免疫と免疫異常(1) 藤田修一 第13回 免疫と免疫異常(2) 藤田修一 第14回 腫瘍(1) 藤田修一	第5回 物質化	だ謝障害					藤田修一
第8回 循環障害 (2) 藤田修一 第9回 循環障害 (3) 藤田修一 第10回 炎症 (1) 藤田修一 第11回 炎症 (2) 藤田修一 第12回 免疫と免疫異常 (1) 藤田修一 第13回 免疫と免疫異常 (2) 藤田修一 第14回 腫瘍 (1) 藤田修一	第6回 修復と	:再生					藤田修一
第9回 循環障害 (3) 藤田修一 第10回 炎症 (1) 藤田修一 第11回 炎症 (2) 藤田修一 第12回 免疫と免疫異常 (1) 藤田修一 第13回 免疫と免疫異常 (2) 藤田修一 第14回 腫瘍 (1) 藤田修一	第7回 循環障	津 害 (1)					藤田修一
第10回 炎症 (1) 藤田修一 第11回 炎症 (2) 藤田修一 第12回 免疫と免疫異常 (1) 藤田修一 第13回 免疫と免疫異常 (2) 藤田修一 第14回 腫瘍 (1) 藤田修一	第8回 循環障	言害 (2)					藤田修一
第11回 炎症 (2) 藤田修一 第12回 免疫と免疫異常 (1) 藤田修一 第13回 免疫と免疫異常 (2) 藤田修一 第14回 腫瘍 (1) 藤田修一	第9回 循環障	舊害 (3)					藤田修一
第12回 免疫と免疫異常 (1) 藤田修一 第13回 免疫と免疫異常 (2) 藤田修一 第14回 腫瘍 (1) 藤田修一	第10回 炎症	(1)					藤田修一
第13回 免疫と免疫異常 (2) 藤田修一 第14回 腫瘍 (1) 藤田修一	第11回 炎症	(2)					藤田修一
第14回 腫瘍 (1) 藤田修一	第12回 免疫	と免疫異常(1)					藤田修一
	第13回 免疫	と免疫異常(2)					藤田修一
第15回 腫瘍 (2) 藤田修一	第14回 腫瘍	(1)					藤田修一
	第15回 腫瘍	(2)					藤田修一

区分	臨床·専門基礎分野	授業科目名		Ц	1液学	単位数	1		
対象学年	1年次生	開講時期		前期・(後期・通年	講義形態	講義・実習		
担当教員名	坂本 光	実務経験	有無	実務経験 内容	一般内科学·血液内科	学の実務約	を験あり		
授業の目的・	目標				成績評価の方法				
血液疾患の病	態を理解するための	基礎知識の習	得。		期末試験				
授業の概要・	受業方針				テキスト・参考資料等				
血液検査の概	要と日常診療における	るその重要性	を 理解	する。	臨床検査学講座「血液	棱 養学」			
		授	業計画				講師		
第1回 血液学	の概要						坂本 光		
第2回 赤血球							坂本 光		
第3回 赤血球							坂本 光		
第4回 白血球							坂本 光		
第5回 白血球							坂本 光		
第6回 まとめと							坂本 光		
	·止血·凝固·線溶(1)						坂本 光		
	·止血·凝固·線溶(2)						坂本 光		
	·止血·凝固·線溶(3)						坂本 光		
	反·止血·凝固·線溶(4)						坂本 光		
第11回 まとめ	と演音(2) 失患に関する検査(1)						坂本 光		
	^{天忠に関する検査(1)} 実患に関する検査(2)						坂本 光 坂本 光		
	た思い関する検査(2) 実患に関する検査(3)						坂本 光		
	試験前のまとめと演習						坂本 光		
NIOD EVIE	以外のでは、						双 个 儿		

区分	臨床·専門基礎分野	極拳科日夕	4	 免疫学	単位数	1
<u>Б</u> Л	端床 * 等 基锭刀 野	技条件日石			1	
対象学年	1年	開講時期	前期(後期) 通年	講義形態	(講義) 実習
担当教員名	古田智春	実務経験	有)無 実務経験 内容	検体検査全般、細菌 植	食査、輸血 検	查、採血業務
授業の目的・	 目標	<u> </u>	I	成績評価の方法		
国家試験で求	められる知識の習得。			定期試験にて評価。		
授業の概要・	授業方針			テキスト・参考資料等		
①復習を交え	ながら理解を深める。			是新吃庄烩杏学講应		学 / 医歯薬出版株式会
②国家試験に	沿った内容による対策	₹°°		社	光发报	F / 区图来山脉怀式云
		授	業計画			講師
 1. 免疫系の						古田 智春
2. 自然免疫						古田 智春
3. 獲得免疫素	系への抗原提示					古田 智春
4. 獲得免疫(こおける抗原の認識					古田 智春
5. 獲得免疫(こおけるT細胞の活性	化機構と役割				古田 智春
6. 獲得免疫(こおける抗体の産生機	構と役割				古田 智春
7. 補体系の征	设割					古田 智春
8. 能動免疫と	上受動免疫					古田 智春
9. 自己寛容						古田 智春
10. 感染症(1))					古田 智春
11. 感染症(2))					古田 智春
12. 腫瘍性疾	患					古田 智春
13. アレルギー						古田 智春
14. 自己免疫:	疾患					古田 智春
15. 免疫不全	症					古田 智春

あたるおおよその社会福祉の制度・サービス等を学ぶ。憲法に保障された、生存権・幸福追求権等の人権がどのように保障され、又、どうすれば守られるかを医療サービスの提供者として考える機会としたい。	区分	臨床·専門基礎分野	授業科目名		医療	福祉概論	単位数	-	1		
理当教員名 橋口 博之 東務経験 (計・無 大き	対象学年	1年次生	開講時期		前期 (後期 通年		· 実習			
自分の人生を自分で決め、誇りをもって生きることは、生まれ・信条・ 年齢・性別・汁酸の必要の有無・経済や健康状態等に関わらず誰も が望むことである。必要な福祉制度の知識を習得し、医療サービス の提供者として、又、地域住民として果たすべき役割を考える。 浸素の概要・授棄方針 社会福祉の歴史・思想を含む概要、医療サービスと協働して支援に 助たるおおよその社会福祉の制度・サービス等を学ぶ、憲法に保障 された、生存権・幸福追求権等の人権がどのように保障され、又、ど プリント及び医療福祉総合ガイドブック2019年度版等 ブリント及び医療福祉総合ガイドブック2019年度版等 ブリント及び医療福祉総合ガイドブック2019年度版等 第 2回 児童福祉 ・児童福祉法・児童育成の理念・児童育成の責任 相談機関 施設等 第 3回 高齢者福祉(1) ・高齢者 高齢化率 高齢化社会と高齢社会 日本の現況と今後の課題等 第 4回 高齢者福祉(2) ・介護保険の大まかな仕組み 代表的なサービス等 第 5回 陣がいるを福祉(1) ・応がいのとらえ方とその変遷 ADL/QOL ICIDH/ICF等 第 6回 陣がいるを福祉(2) ・前回講義補足及びまとめ 障害のある人への法制度の流れ 相談機関と主な福祉サービ 第 6回 障がいるを福祉(2) ・前回講義補足及びまとめ 障害のある人への法制度の流れ 相談機関と主な福祉サービス等 第 1回 社会保障制度(1) ・社会保障制度(1) ・社会保障制度(2) ・公的扶助とは 生活保護法 第 9回 権利強護 ・憲法第13条 人権 個人の尊重 幸福追求権 虐待及び防止法 日常生活を営む上で 構口 博之 第 9回 権利強護 ・憲法第13条 人権 個人の尊重 幸福追求権 虐待及び防止法 日常生活を営む上で 排助能力が不十分な人の権利や財産を守る仕組み等 第 1回 事例検討 ・グループワークを通して、対象者の抱える生活問題を見出し、その対応策を探る。自由に自	担当教員名	橋口 博之	実務経験	有•無		児童指導員及び主任リター:社会福祉士 居家	見童指導員 它介護支援等	地域包括3 事業所:介護	を援セン (支援専門		
年齢・性別・介護の必要の有無・経済や健康状態等に関わらず誰も、 が望むことである。必要な福祉制度の知識を習得し、医療サービス。 応想や質問の提出等により理解度や知識を深めた の提供者として、又、地域住民として果たすべき役割を考える。 一大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・	授業の目的・	 目標				成績評価の方法					
社会福祉の歴史・思想を含む概要、医療サービスと協働して支援にあたるおおよその社会福祉の制度・サービス等を学ぶ、憲法に保障された、生存権・幸福追求権等の人権がどのように保障され、又ととうすれば守られるかを医療サービスの提供者として考える機会としたい。 授業計画 講師 第 1回 「社会福祉とは何か」	年齢・性別・介が望むことでも	護の必要の有無・経済 ある。必要な福祉制度(きや健康状態 の知識を習得	等に関れ し、医療	わらず誰も きサービス	(感想や質問)の提出等	等により、理				
あたるおおよその社会福祉の制度・サービス等を学ぶ。憲法に保障され、ス、どうければ守られるかを医療サービスの提供者として考える機会としたい。 授業計画 講師 第 1回「社会福祉とは何か」 橋口 博之 ・人権としての社会福祉 憲法第25条 社会福祉のとらえ方等 第 2回 児童福祉 ・児童福祉と、児童育成の理念 児童育成の責任 相談機関 施設等 第 3回 高齢者福祉(1) ・高齢者 高齢化率 高齢化社会と高齢社会 日本の現況と今後の課題等 第 4回 高齢者福祉(2) ・介護保険の大まかな仕組み 代表的なサービス等 第 5回 障がい者福祉(1) ・陸がいのとらえ方とその変遷 ADL/QOL ICIDH/ICF等 第 6回 障がい者福祉(2) ・前回講義補足及びまとめ 障害のある人への法制度の流れ 相談機関と主な福祉サービス等 第 7回 社会保障制度(1) ・社会保障制度(1) ・社会保障制度(2) ・公的扶助とは 生活保護法 第 9回 権利擁護 ・憲法第13条 人権 個人の尊重 幸福追求権 虐待及び防止法 日常生活を営む上で 判断能力が不十分な人の権利や財産を守る仕組み等 第 1回 事例検討 ・グループブッークを通して、対象者の抱える生活問題を見出し、その対応策を探る。自由に自 橋口 博之 橋口 博之	授業の概要・										
第1回「社会福祉とは何か」 ・人権としての社会福祉 憲法第25条 社会福祉のとらえ方等 第2回 児童福祉 ・児童福祉法 児童育成の理念 児童育成の責任 相談機関 施設等 第3回 高齢者福祉(1) ・高齢者 高齢化率 高齢化社会と高齢社会 日本の現況と今後の課題等 第4回 高齢者福祉(2) ・介護保険の大まかな仕組み 代表的なサービス等 第5回 障がい者福祉(1) ・障がいのとらえ方とその変遷 ADL/GOL ICIDH/ICF等 第6回 障がい者福祉(2) ・前回講義補足及びまとめ 障害のある人への法制度の流れ 相談機関と主な福祉サービス等 第7回 社会保障制度(1) ・社会保障とは 憲法第25条「生存権」社会保険 公的年金:国民年金(基礎年金)等 第8回 社会保障制度(2) ・公的扶助とは 生活保護法 第9回 権利擁護 ・憲法第13条 人権 個人の尊重 幸福追求権 虐待及び防止法 日常生活を営む上で 判断能力が不十分な人の権利や財産を守る仕組み等 第1の 事例検討 ・プループワークを通して、対象者の抱える生活問題を見出し、その対応策を探る。自由に自らの意見を述べ、グループメンバーとしての役割を担い、授業で習得とか・護保険・福祉サー 橋口 博之	社会福祉の歴史・思想を含む概要、医療サービスと協働して支援にあたるおおよその社会福祉の制度・サービス等を学ぶ。憲法に保障された、生存権・幸福追求権等の人権がどのように保障され、又、どうすれば守られるかを医療サービスの提供者として考える機会としたい。										
・人権としての社会福祉 憲法第25条 社会福祉のとらえ方等 第 2回 児童福祉	授業計画							講	師		
・人権としての社会福祉 憲法第25条 社会福祉のとらえ方等 第 2回 児童福祉 ・児童福祉法 児童育成の理念 児童育成の責任 相談機関 施設等 第 3回 高齢者福祉(1) ・高齢者 高齢化率 高齢化社会と高齢社会 日本の現況と今後の課題等 第 4回 高齢者福祉(2) ・介護保険の大まかな仕組み 代表的なサービス等 第 5回 障がい者福祉(1) ・障がいのとらえ方とその変遷 ADL/QOL ICIDH/ICF等 第 6回 障がい者福祉(2) ・前回講義補足及びまとめ 障害のある人への法制度の流れ 相談機関と主な福祉サービ 第 7回 社会保障制度(1) ・社会保障とは 憲法第25条「生存権」社会保険 公的年金:国民年金(基礎年金)等 第 8回 社会保障制度(2) ・公的扶助とは 生活保護法 第 9回 権利擁護 ・憲法第13条 人権 個人の尊重 幸福追求権 虐待及び防止法 日常生活を営む上で 判断能力が不十分な人の権利や財産を守る仕組み等 第10回 事例検討 ・グループワークを通して、対象者の抱える生活問題を見出し、その対応策を探る。自由に自らの意見を述べ、グループメンバーとしての役割を担い、授業で習得した介護保険・福祉サー 橋口 博之	第 1回「社会	会福祉とは何か」							描っ		
・児童福祉法 児童育成の理念 児童育成の責任 相談機関 施設等 第 3回 高齢者福祉(1) ・高齢者 高齢化率 高齢化社会と高齢社会 日本の現況と今後の課題等 第 4回 高齢者福祉(2) ・介護保険の大まかな仕組み 代表的なサービス等 第 5回 障がい者福祉(1) ・障がいのとらえ方とその変遷 ADL/QOL ICIDH/ICF等 第 6回 障がい者福祉(2) ・前回講義補足及びまとめ 障害のある人への法制度の流れ 相談機関と主な福祉サービス等 第 7回 社会保障制度(1) ・社会保障とは 憲法第25条「生存権」社会保険 公的年金:国民年金(基礎年金)等 第 8回 社会保障制度(2) ・公的扶助とは 生活保護法 第 9回 権利擁護 ・憲法第13条 人権 個人の尊重 幸福追求権 虐待及び防止法 日常生活を営む上で 判断能力が不十分な人の権利や財産を守る仕組み等 第 10回 事例検討 ・グループワークを通して、対象者の抱える生活問題を見出し、その対応策を探る。自由に自 6の意見を述べ、グループメンバーとしての役割を担い、授業で習得した介護保険・福祉サー	・人権として	の社会福祉 憲法第	第25条 社会	福祉の	とらえ方等	F		伯山	中 <i>仁</i>		
*高齢者 高齢化率 高齢化社会と高齢社会 日本の現況と今後の課題等 第 4回 高齢者福祉(2) 橋口 博之 ・介護保険の大まかな仕組み 代表的なサービス等 第 5回 障がい者福祉(1) 橋口 博之 ・障がいのとらえ方とその変遷 ADL/QOL ICIDH/ICF等 第 6回 障がい者福祉(2) 橋口 博之 ・前回講義補足及びまとめ 障害のある人への法制度の流れ 相談機関と主な福祉サービス等 第 7回 社会保障制度(1) ・社会保障とは 憲法第25条「生存権」社会保険 公的年金:国民年金(基礎年金)等 第 8回 社会保障制度(2) ・公的扶助とは 生活保護法 第 9回 権利擁護 ・憲法第13条 人権 個人の尊重 幸福追求権 虐待及び防止法 日常生活を営む上で 判断能力が不十分な人の権利や財産を守る仕組み等 第10回 事例検討 ・グループワークを通して、対象者の抱える生活問題を見出し、その対応策を探る。自由に自らの意見を述べ、グループメンパーとしての役割を担い、授業で習得した介護保険・福祉サー			児童育成	の責任	相談機関	施設等		橋口	博之		
第 4回 高齢者福祉(2) ・介護保険の大まかな仕組み 代表的なサービス等 第 5回 障がい者福祉(1) ・障がいのとらえ方とその変遷 ADL/QOL ICIDH/ICF等 第 6回 障がい者福祉(2) ・前回講義補足及びまとめ 障害のある人への法制度の流れ 相談機関と主な福祉サービ ス等 第 7回 社会保障制度(1) ・社会保障とは 憲法第25条「生存権」社会保険 公的年金:国民年金(基礎年金)等 第 8回 社会保障制度(2) ・公的扶助とは 生活保護法 第 9回 権利擁護 ・憲法第13条 人権 個人の尊重 幸福追求権 虐待及び防止法 日常生活を営む上で 判断能力が不十分な人の権利や財産を守る仕組み等 第10回 事例検討 ・グループワークを通して、対象者の抱える生活問題を見出し、その対応策を探る。自由に自らの意見を述べ、グループメンバーとしての役割を担い、授業で習得した介護保険・福祉サー			全と喜齢計4		の現況と	全後の課題等		橋口	博之		
・介護保険の大まかな仕組み 代表的なサービス等 第 5回 障がい者福祉(1) ・障がいのとらえ方とその変遷 ADL/QOL ICIDH/ICF等 第 6回 障がい者福祉(2) ・前回講義補足及びまとめ 障害のある人への法制度の流れ 相談機関と主な福祉サービス等 第 7回 社会保障制度(1) ・社会保障とは 憲法第25条「生存権」社会保険 公的年金:国民年金(基礎年金)等 第 8回 社会保障制度(2) ・公的扶助とは 生活保護法 第 9回 権利擁護 ・憲法第13条 人権 個人の尊重 幸福追求権 虐待及び防止法 日常生活を営む上で 判断能力が不十分な人の権利や財産を守る仕組み等 第10回 事例検討 ・グループワークを通して、対象者の抱える生活問題を見出し、その対応策を探る。自由に自らの意見を述べ、グループメンバーとしての役割を担い、授業で習得した介護保険・福祉サー			女に回風ルエス	X 11 A	.U/56/16C	7 区 小					
・障がいのとらえ方とその変遷 ADL/QOL ICIDH/ICF等 第 6回 障がい者福祉(2) ・前回講義補足及びまとめ 障害のある人への法制度の流れ 相談機関と主な福祉サービス等 第 7回 社会保障制度(1) ・社会保障とは 憲法第25条「生存権」社会保険 公的年金:国民年金(基礎年金)等 第 8回 社会保障制度(2) ・公的扶助とは 生活保護法 第 9回 権利擁護 ・憲法第13条 人権 個人の尊重 幸福追求権 虐待及び防止法 日常生活を営む上で 判断能力が不十分な人の権利や財産を守る仕組み等 第10回 事例検討 ・グループワークを通して、対象者の抱える生活問題を見出し、その対応策を探る。自由に自らの意見を述べ、グループメンバーとしての役割を担い、授業で習得した介護保険・福祉サー	·介護保険	の大まかな仕組み	代表的なサ	一ビス等	ŧ			橋口	博之		
・障がいのとらえ方とその変遷 ADL/QOL ICIDH/ICF等 第6回 障がい者福祉(2) ・前回講義補足及びまとめ 障害のある人への法制度の流れ 相談機関と主な福祉サービス等 第7回 社会保障制度(1) ・社会保障とは 憲法第25条「生存権」社会保険 公的年金:国民年金(基礎年金)等 第8回 社会保障制度(2) ・公的扶助とは 生活保護法 第9回 権利擁護 ・憲法第13条 人権 個人の尊重 幸福追求権 虐待及び防止法 日常生活を営む上で 判断能力が不十分な人の権利や財産を守る仕組み等 第10回 事例検討 ・グループワークを通して、対象者の抱える生活問題を見出し、その対応策を探る。自由に自らの意見を述べ、グループメンバーとしての役割を担い、授業で習得した介護保険・福祉サー	第 5回 障が	い者福祉(1)							掛力		
・前回講義補足及びまとめ 障害のある人への法制度の流れ 相談機関と主な福祉サービス等 第7回 社会保障制度(1) ・社会保障とは 憲法第25条「生存権」社会保険 公的年金:国民年金(基礎年金)等 第8回 社会保障制度(2) ・公的扶助とは 生活保護法 第9回 権利擁護 ・憲法第13条 人権 個人の尊重 幸福追求権 虐待及び防止法 日常生活を営む上で 判断能力が不十分な人の権利や財産を守る仕組み等 第10回 事例検討 ・グループワークを通して、対象者の抱える生活問題を見出し、その対応策を探る。自由に自らの意見を述べ、グループメンバーとしての役割を担い、授業で習得した介護保険・福祉サー	・障がいの	とらえ方とその変遷	ADL/QO	L ICID	H∕ICF	F		伯山	将		
第 7回 社会保障制度(1) ・社会保障とは 憲法第25条「生存権」社会保険 公的年金:国民年金(基礎年金)等 第 8回 社会保障制度(2) ・公的扶助とは 生活保護法 第 9回 権利擁護 ・憲法第13条 人権 個人の尊重 幸福追求権 虐待及び防止法 日常生活を営む上で 判断能力が不十分な人の権利や財産を守る仕組み等 第10回 事例検討 ・グループワークを通して、対象者の抱える生活問題を見出し、その対応策を探る。自由に自らの意見を述べ、グループメンバーとしての役割を担い、授業で習得した介護保険・福祉サー	第6回 障か	い者福祉(2)									
・社会保障とは 憲法第25条「生存権」社会保険 公的年金:国民年金(基礎年金)等 第8回 社会保障制度(2) ・公的扶助とは 生活保護法 第9回 権利擁護 ・憲法第13条 人権 個人の尊重 幸福追求権 虐待及び防止法 日常生活を営む上で 判断能力が不十分な人の権利や財産を守る仕組み等 第10回 事例検討 ・グループワークを通して、対象者の抱える生活問題を見出し、その対応策を探る。自由に自らの意見を述べ、グループメンバーとしての役割を担い、授業で習得した介護保険・福祉サー	・前回講義 ス等	補足及びまとめ 障害	害のある人✓	への法制	削度の流れ	,相談機関と主な福 補	业サービ	橋口	博之		
・社会保障とは 憲法第25条「生存権」社会保険 公的年金:国民年金(基礎年金)等 第8回 社会保障制度(2) ・公的扶助とは 生活保護法 第9回 権利擁護 ・憲法第13条 人権 個人の尊重 幸福追求権 虐待及び防止法 日常生活を営む上で 判断能力が不十分な人の権利や財産を守る仕組み等 第10回 事例検討 ・グループワークを通して、対象者の抱える生活問題を見出し、その対応策を探る。自由に自らの意見を述べ、グループメンバーとしての役割を担い、授業で習得した介護保険・福祉サー	第7回 社会	保障制度(1)						揺□	捕っ		
・公的扶助とは 生活保護法 第 9回 権利擁護 ・憲法第13条 人権 個人の尊重 幸福追求権 虐待及び防止法 日常生活を営む上で 判断能力が不十分な人の権利や財産を守る仕組み等 第10回 事例検討 ・グループワークを通して、対象者の抱える生活問題を見出し、その対応策を探る。自由に自らの意見を述べ、グループメンバーとしての役割を担い、授業で習得した介護保険・福祉サー	・社会保障(とは 憲法第25条「生	存権」社会	会保険	公的年金	:国民年金(基礎年金))等	16日	· 诗之		
・公的扶助とは 生活保護法 第 9回 権利擁護 ・憲法第13条 人権 個人の尊重 幸福追求権 虐待及び防止法 日常生活を営む上で 橋口 博之 判断能力が不十分な人の権利や財産を守る仕組み等 第10回 事例検討 ・グループワークを通して、対象者の抱える生活問題を見出し、その対応策を探る。自由に自 橋口 博之 らの意見を述べ、グループメンバーとしての役割を担い、授業で習得した介護保険・福祉サー	第8回 社会	保障制度(2)						極□	博 ク		
・憲法第13条 人権 個人の尊重 幸福追求権 虐待及び防止法 日常生活を営む上で 橋口 博之 判断能力が不十分な人の権利や財産を守る仕組み等 第10回 事例検討 ・グループワークを通して、対象者の抱える生活問題を見出し、その対応策を探る。自由に自 らの意見を述べ、グループメンバーとしての役割を担い、授業で習得した介護保険・福祉サー	・公的扶助とは 生活保護法							1向 H	। च ≮_		
判断能力が不十分な人の権利や財産を守る仕組み等 第10回 事例検討 ・グループワークを通して、対象者の抱える生活問題を見出し、その対応策を探る。自由に自 らの意見を述べ、グループメンバーとしての役割を担い、授業で習得した介護保険・福祉サー									1-45-1		
第10回 事例検討 ・グループワークを通して、対象者の抱える生活問題を見出し、その対応策を探る。自由に自 橋口 博之らの意見を述べ、グループメンバーとしての役割を担い、授業で習得した介護保険・福祉サー						止法 日常生活を営む	〕上で	橋口	博之		
・グループワークを通して、対象者の抱える生活問題を見出し、その対応策を探る。自由に自 橋口 博之 らの意見を述べ、グループメンバーとしての役割を担い、授業で習得した介護保険・福祉サー			財産を守る	仕組み	等						
	・グループ「 らの意見を述	フークを通して、対象 なべ、グループメンバ						橋口	博之		

区分	臨床·専門基礎分野	授業科目名		情報	科学実習	単位数	1
対象学年	1年生	開講時期		前期(講義・実習		
担当教員名	船津 由季子	実務経験	有·無	実務経験 内容	コンピュータ専門学村定・国試対策などを	交等において、 受け持った経	情報処理の授業、検 験あり
授業の目的・	I 目標				成績評価の方法		
・情報活用試 ・情報処理の ・国家試験対策	基礎能力をつける				定期試験評価 課題提出		
授業の概要・持	受業方針				テキスト・参考資料等	等	
	月し、一般的な情報処理 策のための、ポイント記				情報活用試験3級テ およびプリント、過去		
		授	業計画				講師
							船津 由季子
第5章 情報刊	<u>ミラル</u>						加洋 田学士
* 計略分等:							船津 由季子
*国家試験問							船津 由季子

区分	区分 臨床·専門分野 授業科目名 臨床医学総論 単位数								
対象学年	1年生	開講時期		前期 •	後期・通年	講義形態	講義	実習	
担当教員名	南 惣一郎	実務経験	有-無	実務経験 内容	昭和56年5月26日臨月 1日から現国立大学派 ている。この間、臨床 検査、輸血検査、遺伝 学生ポリクリ指導、研 糖尿病療養士指導、 臨地実習指導等も行	法人長崎大学 化学検査、血 云子検査に従る 修医指導、薬 栄養学科学生	病院検査 液凝固核 事した。同 学部学生	:部へ勤務 全査、微生! 同時に医学 上実習指導	物部、
授業の目的・	目標				成績評価の方法				
総合的知識を ②各疾患にお	ける臨床検査の意義		が、疾患!	に関する	定期試験				
授業の概要・持		500 t . ho a <i>t</i> > b	《た謎羊・	ナルカス	テキスト・参考資料等 臨床検査学講座	;			
テキストに沿って、各章ごとに捕捉説明を加えながら講義を進める。 授業ごとに振り返りを行うことで理解を深める。 臨床医学総論/臨床検査学総論(医歯薬出版)									
		授	業計画					講師	
1. 医学総論、	循環器疾患						南	惣一郎	
2、呼吸器疾患	3、消化器疾患							惣一郎	
3、肝・胆・膵疾	患							惣一郎	
4、感染症								惣一郎	
5、血液・造血	器疾患、1年生前期後	<u>:期の振り返り</u>					南	惣一郎	

	区分	臨床·専門分野	授業科目名		医動	物学実習	単位数		1
3	対象学年	1年生	開講時期		前期 •	後期・通年	講義形態	講義	実習
担	!当教員:	名 坂口 みどり	実務経験	有無	実務経験 内容	検査セン	ター勤務後、	、学校職員	
授:	業の目的]•目標				成績評価の方法			
基	本的な手	技と検体の取り扱い方・	顕微鏡操作			期末試験			
		·授業方針				テキスト・参考資料等			
も続い。	繰り返し彳	生虫検出法について学 ううことで、2年次の実習 ならないようディスカッショ とい。	へのスムーズ	な移行	を促した	医歯薬出版 最新 臨床検査学講座「医動	协物学」		
			授	業計画				Ī	講師
第	1回 ଶ	競検(各種花粉の観察)						坂口	みどり
第	2回 5	虫卵検出法(カバーガラ)	ス直接薄層塗	抹法)鏡	6検(標本観	察・スケッチ)		坂口	みどり
第	3回 5	虫卵検出法(セロファン原	『層塗抹法)鏡	6検(標2	本観察・スケ	゚゚ヅチ)		坂口	みどり
第	4回 5	虫卵検出法(飽和食塩浮	遊法)鏡検(標本観察	₹•スケッチ)			坂口	みどり
第		虫卵検出法(硫酸Mg食塩・・鏡検(標本観察・スケッ		L法 ホ	・ルマリン・エ	テル遠心沈殿法)		坂口	みどり
笙		虫卵検出法(AMSⅢ法)		図∙スケ√	ッチ)			坂口	みどり
		競検(各種標本観察・スク		,,, ,, , ,				坂口	みどり
		請よりアニサキスの採取		見察)				坂口	みどり
H								i e	

区分	臨床·専門分野	授業科目名		化学纪	分析検査学 単位数		1単位			
対象学年	1年次	開講時期		前期 • 🤇	後期・通年	講義形態	講義・実習			
担当教員名	東秀次	実務経験	有無	実務経験 内容	検査センター勤務					
授業の目的・			<u> </u>		成績評価の方法					
検査に必要な	知識、分析法に関する	る基礎知識の	習得を目	的とする。	出席状況•定期試験	Ì				
授業の概要・技					テキスト・参考資料等					
検査の基礎知	識、分析法の種類、	基礎、計算の割	説明。小う	テスト	臨床化学検査学/医	極薬出版				
		授	集計画				講師			
第1回 臨床化	2学について						東			
第2回 単位に	ついて						東			
第3回 精度と	誤差						東			
第4回 基準範	西と生理的変動幅						東			
第5回 分析法	もの種類と選択 アイス						東			
第6回 分析法	の種類と選択						東			
第7回 分光光	光度計						東			
第8回 酵素に	ついて						東			
	5性測定						東			
第10回 酵素							東			
第11回 免疫·							東			
第12回 電気 ⁴							東			
第13回 その作							東 東			
第14回 POC							 東			
第15回 まとめ	<u> </u>						*			
							- 			

	区分	臨床•専門分野	授業科目名		一般検査学実習 単位数			1
- ;	対象学年	1年生	開講時期	前期 後期		後期・通年	講義形態	講義(実習)
担	当教員	名 坂口 みどり	実務経験	有無	実務経験 内容	検査センター勤務後、	学校職員	
授	業の目的	9-目標				成績評価の方法		
基	本的な実	ミ習技術の習得と検体の!	取り扱い方			期末試験		
授	業の概要	頁∙授業方針				テキスト・参考資料等	i	
楽	しみなが	技について学ぶ。技術を ら取組むように促す。 受! 、興味を持てる授業展開	身にならない。	ことを第1 ようディス	目標とし、スカッション	医歯薬出版 最新 臨床検査学講座「一月	投検査学」	
	授業計画							
第	1回	髄液検査(白血球分離)[髄液細胞数質	坂口 みどり				
第		髄液細胞数算定、髄液[イ				、タンパク定量(マイク	ロTPテスト)	坂口 みどり
-		髄液細胞数算定、髄液[l]			坂口 みどり
-		便潜血反応[人工便によ		疫法]				坂口 みどり
-		胃液酸度測定、中和滴定						坂口 みどり
\vdash		尿沈渣(基本的な操作に	ついて)					坂口 みどり
-		尿沈渣(自己尿)						坂口 みどり
第	8回	尿沈渣(異常検体) 						坂口 みどり
1								

	T	1	1				
区分	臨床•専門分野	授業科目名		微生	物検査学	単位数	1単位
対象学年	1年生	開講時期		前期・	後期・通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	横溝 勝	実務経験	有無	実務経験 内容	国立長崎長崎中央 国立嬉野病院 9年 国立小倉病院 2年 微生物検査に従事	<u>:</u>	
授業の目的・	目標				成績評価の方法		
微生物につい 法を学んで行	へで性状・病原性など基 く。	礎的な分野る	学び理	解し、検査	定期試験・出席点		
授業の概要・	授業方針				テキスト・参考資料	等	
教科書を中心	トにミニテストを交え <i>なた</i>	がらすすめてい	,ヽ<。		最新臨床検査学講 出版)	座 微生物学/图	a床微生物学(医歯薬
		授	業計画				講師
第1回 グ	「ラム陽性球菌とグラ <i>ム</i>	陰性球菌					横溝 勝
第2回 :	スタフィロコッカス属						横溝 勝
第3回 ス	トレプトコッカス属						横溝 勝
第4回 エ	ンテロコッカス属						横溝 勝
第5回 ナ	イセリア科とモラクセラ	5科					横溝 勝
第6回 腸	湯内細菌(主に大腸菌)						横溝 勝
	場内細菌(主にサルモネ	ヾラ・シゲラ)					横溝 勝
							横溝 勝

区分	臨床·専門分野	授業科目名		微生物	検査学	実習	単位数	1単位
対象学年	1年生	開講時期		前期 • 🤇	後期)・		講義形態	講義(実習)
担当教員名	i 横溝 勝	実務経験	有無	実務経験 内容	国立嬉 国立小	崎長崎中央病院 野病院 9年 へ倉病院 2年 現検査に従事	完 1年6力月	
授業の目的	- 目標				成績割	価の方法		
	の基本操作、また微意 §染力や危険性を充分 。				定期討	忧験∙出席点∙実習	習態度	
授業の概要	•授業方針				テキス	ト・参考資料等		
教科書・プリ	ントを中心に実習を行	う。			出版)	は床検査学講座 だまま はまま はまま はまま はまま はまま はまま はまま はまま はまま		塩床微生物学(医歯薬 計書店
		授	業計画					講師
第1回	実習手順・心構えにつ	いて/器具の	使い方・	説明				横溝 勝
第2回	グラム染色(染色法・3	染色作成法▪標	本作成))•検鏡(顕微	数鏡の側	もい方)		横溝 勝
第3回	培地説明•作製(平板)	培地•斜面培地	也•確認均	音地•選択培	治地等)			横溝 勝
第4回	グラム染色・培養・同気	この実習説明・	培地作	製				横溝 勝
第5回	グラム陽性球菌 スタ	タフィロコックス	.属の実	習説明•培坤	地作製			横溝 勝
		トレプトコックス				È		横溝 勝
第7回		ア属の実習説						横溝 勝
		-ア属のグラム						横溝 勝

			7				
区分	臨床·専門分野	授業科目名		臨床生	E理検査学	単位数	1単位
対象学年	1年生	開講時期		前期(後期 通年	講義形態)
担当教員名	藤尾 理賀	実務経験	有無	実務経験 内容	長崎原爆病院にて、筋 検査全般を担当。 	電図検査∙	神経伝導検査等、生理
授業の目的・ 筋電図検査・	 標 神経伝導検査につい	ての知識を	深める。		成績評価の方法 定期試験		
授業の概要・抗 教科書に沿っ えて講義する	た基礎知識の解説と	実際の検査	で必要な	3知識を交	テキスト・参考資料等 臨床検査学講座「第3)	坂 生理機能	⊧検査学 」医歯薬出版
		授	業計画				講師
第1回:筋や	神経の基礎的知識						藤尾 理賀
第2回:普通	針筋電図検査(波形	の成り立ち	・正常原	所見)			藤尾 理賀
第3回:普通	針筋電図検査(波形	の成り立ち	・異常原	所見)			藤尾 理賀
第4回:末梢	神経伝導検査(運動	神経伝導検	査)				藤尾 理賀
第5回:末梢	神経伝導検査(感覚	. 神経伝導検	査)				藤尾 理賀
第6回:F波f	云導検査・H反射・反	復神経伝導	検査				藤尾 理賀
第7回:まと	め						藤尾 理賀

区分	臨床·専門分野	授業科目名	臨床生理検査学	単位数	1単位
対象学年	1年生	開講時期	前期 後期 通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	森内 拓治	実務経験	±1.76 47 FA [.]	理機能検査室にて	8年間の実務経験
常波形を理解で	刺激伝導系について できるようになる。	・ 学習し、標準12誘	成績評価の方法 導心電図の正 定期試験		
②図の臨床的		心電計の誘導法、I	テキスト・参考資学に基づき、心 医歯薬出版/臨 E常心電図波		理機能検査学
		授業計	画		講師
第1回	生理機能検査とは・	循環器系検査の基	礎	Ā	森内 拓治
第2回	心電図検査の臨床的	勺意義•心電図発現	の機構・心電図波形の成り立ち	Ā	集内 拓治
第3回	心電図の計測			Ā	森内 拓治
第4回	誘導法			Ā	集内 拓治
第5回	誘導の意味・電気軸	について		Ā	集内 拓治
第6回	正常心電図·心電図	の読み方について		Ā	集内 拓治
	心電計について			ā	集内 拓治
	心電図についてまと	<u></u> め		į	集内 拓治

_								
区分	臨床·専門分野	授業科目名			支術学演習	単位数		1
対象学年	F 1年生	開講時期		前期(後期・通年	講義形態		講義・実習
担当教員	名 船津 由季子	実務経験	有•無	実務経験 内容	コンピュータ専門学の授業、検定対策な	校等において、 などを受け持っ	, Word た経験	基本・応用操作 (あり
授業の目的	内-目標	<u> </u>		<u> </u>	成績評価の方法			
Wordの基準	本操作を習得する				定期試験評価 課題提出			
授業の概要	要·授業方針				テキスト・参考資料	、		
テキストをſ	使用し、操作解説を行う				これでわかるWordと	Excel2013		
		授	業計画		•			講師
第1章 文	書の作成を開始する	起動、ウィン	ドウにつ	いて、ペー	ジレイアウトなど		船津	由季子
第2章 文	書を作成する	入力、削除。	上訂正、	書式、インテ	・ント、行間など		船津	由季子
第3章 文	書の印刷と作成	プレビュー、	印刷設定	定、保存など	<u>.</u>		船津	由季子
第4章 その	の他の基本操作	表作成、列•	行操作.	、画像挿入、	、文書内の配置など		船津	由季子
	書作成に関する ウニック	別の漢字に	変換、証	号入力、移	5動・コピーなど		船津	由季子
I							I	

区分	臨床•基礎分野	授業科目名		法学	単位数	1
対象学年	2年生	開講時期	前期・	後期・通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	今村 文章	実務経験	有無 実務経験 内容	三菱鉱業端島鉱病院核病院に34年(計39年臨日 日本臨床検査技師会理 の中で精度法規など	床検査技師 事、常務理	うさして勤務)。その間、 理事、副会長等を務め、
する関係法規	目標 津について歴史となり 、臨床検査に係る法律 守などについて講義す	等について		成績評価の方法 出席状況やレポート提展 価する。	出、最終的	には期末試験により評
授業の概要・ スライドと教科	受業方針 書、補足プリントを使り	用し、講義が	中心となる。	テキスト・参考資料等 医歯薬出版社の関係法	規を使用	
		+30	** **	•		举 练

	授業計画	講師
第 1講	序:法の概念	今村 文章
第 2講	維持関連法規・保健施設関係法規として医療法を中心に	今村 文章
	保健医療関係者法規(医師法他)	今村 文章
第 4講	その他の保健医療関係者法規	今村 文章
第 5講	予防·保健関係法規	今村 文章
第 6講	食品・薬事環境衛生関係法規	今村 文章
	死体解剖関係法規・健康増進・福祉関係法規	今村 文章
第 8講	労働関係·医療保険関係法規	今村 文章
第 9講	臨床検査技師法を中心に	今村 文章
第10講		今村 文章

区分	臨床·専門分野	授業科目名	臨床	病理学総論		単位数	1単位
対象学年	2年生	開講時期	前期・	後期 • 通生	∓ i	青義 形態	講義 実習
担当教員名	南 惣一郎	実務経験(有)無 実務経験 内容	1日から現国 ている。この 検査、輸血学生ポリクリ 糖尿病療養	国立大学法人)間、臨床化学)関、臨床化学 検査、遺伝子)指導、研修图	長崎大学系学検査、血液 検査に従い 検査に従い 医指導、薬 を と対学生	許取得、昭和56年 病院検査部へ勤務 夜凝固検査、微生! 事した。同時に医学 学部学生実習指導 指導、臨床検査技
受業の目的・	目標			成績評価の	方法		
総合的知識を 各疾患の診断 臨床検査の意	・治療・予後判定に必 義と重要性を理解す	必要な臨床検査の	2	正期試験			
	受業方針 けて、各章ごとに捕捉፤ り返りを行うことで理角		講義を進める。	テキスト・参 臨床検査学 臨床医学総		査学総論(医歯薬出版)
		授業記	十画				講師
1. 内分泌疾患							南 惣一郎
	性生殖器疾患、女性	生殖器疾患、					南 惣一郎
. 神経・運動	器疾患、アレルギー性	连疾患					南 惣一郎
. 代謝•栄養隊	章害、感覚器疾患、中	毒、					南 惣一郎
. 染色体•遺(云子異常症、皮膚お。	はび乳腺の疾患、					南 惣一郎
. 臨床検査の	意義-検査情報の活	5月、臨床診断学	総論、				南 惣一郎
. 2年生前期	の振り返り						南 惣一郎

区分	臨床•専門分野	授業科目名	病班	理検査学	単位数	1
対象学年	2年生	開講時期	前期・	後期 • 通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	藤田 修一	実務経験	有·無 実務経験 内容	長崎大学熱帯医学 在、長崎大学病院 わっている。	研究所で病理 で、病理組織診	解剖を行っていた。現 断・細胞診業務に携
ぶ。将来、臨床 る。また、臨床	目標 :病理学の知識をもと の現場で遭遇する疾 検査技師の業務でも こついても概説する。	患であるので	、確実に理解す	成績評価の方法 定期試験		
づいて、臓器別	2回を病理学各論にあ 川に頻度の高い疾患! おける組織標本の作	こついて講義で	する。第13回・14回	医療系学生のため	ま、佐藤達資、 の病理学 第4版 也 臨床検査学記	. 石津明洋、田中伸哉 反 講談社 講座「病理学/病理検
		授	業計画			講師
第1回 循環器	系(1)					藤田修一
第2回 循環器	系 (2)					藤田修一
第3回 呼吸器	系					藤田修一
第4回 消化器	系(1)					藤田修一
第5回 消化器	系(2)					藤田修一
第6回 造血器	系					藤田修一
第7回 泌尿器	系					藤田修一
第8回 生殖器	系•乳腺					藤田修一
第9回 運動器	および軟部組織系、	内分泌系(1)				藤田修一
第10回 内分流	必系 (2)					藤田修一
第11回 脳•神	経系(1)					藤田修一
第12回 脳•神	経系(2)、皮膚·感覚	器系				藤田修一
第13回 病理網	組織学的検査法(1)					藤田修一
	組織学的検査法(2)					藤田修一
第15回 細胞草	学的検査法					藤田修一

区分	臨床•専門分野	授業科目名	病理検査学実習	単位数	2単位
対象学年	2年次	開講時期	前期・後期・通年	講義形態	講義(実習)
担当教員名	諸隈 博	実務経験	病理診断用標本作: 実務経験 組織学・病理学を理 内容 等の経験を有する。		経験があり、基礎的な 固定、包埋、薄切、染色

授業の目的・目標

成績評価の方法

出欠状況·定期試験

授業の概要・授業方針

①「病理検査学実習」に必要な基礎的な組織像を講義で理解する。 ②教科書・作成資料を基に講義および病理検査学実習を行う。 ③ 実習は班単位で行い、お互い教え合えるような学習体制を整える。
④また、次年度の臨地実習・国家試験を十分に意識した授業を展開する。

テキスト・参考資料等

- •最新臨床検査学講座 病理学/病理検査学
- ・最新染色法のすべて 講師作成資料 など

授業計画	講師
第1回 病理組織学的検査の意義と概要 病理組織染色に必要な正常組織像①	諸隈博
第2回 病理組織染色に必要な正常組織像②	諸隈 博
第3回 病理組織染色に必要な正常組織像③	諸隈 博
第4回 鏡検(組織像)	諸隈 博
第5回 病理組織標本作製の手順(固定~薄切) 凍結切片標本作製①	諸隈 博
第6回 病理組織標本作製の手順(固定~薄切) 凍結切片標本作製②	諸隈 博
第7回 実習:薄切①	諸隈 博
第8回 実習:薄切②	諸隈 博
第9回 染色前後の操作(脱パラ、脱水・封入)	諸隈 博
第10回 ヘマトキシリン・エオジン(HE)染色	諸隈 博
第11回 実習:HE染色①	諸隈 博
第12回 実習:HE染色②	諸隈 博
第13回 特殊染色① 結合組織、多糖類	諸隈 博
第14回 特殊染色② 線維素、組織内無機物、生体内色素	諸隈 博
第15回 実習: Azan染色、EVG染色①	諸隈 博
第16回 実習:Azan染色、EVG染色②	諸隈 博
第17回 実習:鏡検	諸隈 博
第18回 実習:鏡検	諸隈 博
第19回 特殊染色③(神経組織、脂肪)	諸隈 博
第20回 特殊染色④(アミロイド、核酸、組織内病原体、内分泌細胞)	諸隈 博
第21回 実習:PAS反応、Alcian blue染色①	諸隈 博
第22回 実習:PAS反応、Alcian blue染色②	諸隈 博
第23回 実習:Berline blue染色、Congo red染色①	諸隈 博
第24回 実習:Berline blue染色、Congo red染色②	諸隈 博
第25回 免疫組織化学的染色①	諸隈 博
第26回 免疫組織化学的染色②	諸隈 博
第27回 実習:鏡検	諸隈 博
第28回 実習:鏡検	諸隈 博
第29回 電子顕微鏡、病理解剖、病理検査室の管理	諸隈 博
第30回 まとめ	諸隈 博

区分	臨床·専門分野	授業科目名		血液	友検査学	単位数	1
対象学年	2年次生	開講時期		前期・	後期 • 通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	坂本 光	実務経験	有無	実務経験 内容	一般内科学·血液内	科学の実務総	を験あり
授業の目的・	目標			<u>.</u>	成績評価の方法		
血液疾患の病	態を理解するための	基礎知識の習	得。		期末試験		
授業の概要・持	受業方針				テキスト・参考資料等	5	
血液検査の病 の重要性を理	態と臨床的特徴を学び 解する。	び、日常診療	における	5血液検査	臨床検査学講座「血	液検査学」	
		授	業計画				講師
第1回 赤血球	系疾患 総論と各論(1)	小球性貧血					坂本 光
	系疾患 各論(2) 正球性	-, ,					坂本 光
	系疾患 各論(3) 大急性	生貧血、赤血	球系疾息	患のまとめ			坂本 光
第4回 白血球							坂本 光
	系疾患 各論(1) 骨髄			.,,			坂本 光
	系疾患 各論(2) 骨髄						坂本 光
	系疾患 各論(3)リンパ						坂本 光
	系疾患 各論(4) 多発	性常髄腫、日	皿球疾	思のまとめ			坂本 光
	、凝固系の疾患(1) 						坂本 光
	(、凝固系の疾患(2) 						坂本 光 坂本 光
	7、凝固系の疾患(4)						坂本 光
×10 1 - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	、凝固系の疾患(す)	<u></u> め)					坂本 光
	、一般の大学である。 な検査と遺伝子検査						坂本 光
	は験前のまとめと演習						坂本 光
							_

区分	臨床•専門分野	授業科目名		血液核	食査学実習	単位数	2単位
対象学年	2年生	開講時期	(前期・	後期 ・ 通年	講義形態	講義(実習)
担当教員名	清水 愛李	実務経験	有無	実務経験 内容	血液学的検査、生化学査、一般検査、採血業績		疫学的検査、輸血検
授業の目的・	受業の目的・目標				成績評価の方法		
	・基本の復習を踏まえ ミ習を通して、思考力・				試験及び実習態度、	提出物の打	是出状況にて評価。
授業の概要・技	受業方針				テキスト・参考資料等		
	クをメインとし、班員で テロ、時間内に正しい					査学(医歯薬	14 110-17

力して実習を行い、時間内に正しい結果を導くよう努力する。

血液細胞症例集

◆配 卷 ≘上1話1	講師
授業計画	
第1講 血液基礎、採血の注意点、採血実技	清水 愛李
第2講 CBCに関する講義、試薬調製	清水 愛李
第3講 赤血球、白血球計測	清水 愛李
第4講 血小板計測(直接法、間接法)	清水 愛李
第5講 ヘモグロビン、ヘマトクリット測定	清水 愛李
第6講 赤血球抵抗試験、赤血球沈降速度	清水 愛李
第7講 中間総復習	清水 愛李
第8講 薄層塗沫標本、普通染色についての講義とスメア練習	清水 愛李
第9講 末梢血標本作製、染色、観察	清水 愛李
第10講 形態異常解説、耳朶血標本作製、染色、観察	清水 愛李
第11講 ペルオキシダーゼ染色(DAB法、ズダン黒B染色	清水 愛李
第12講 PAS染色、鉄染色	清水 愛李
第13講 エステラーゼ染色	清水 愛李
第14講 アルカリホスファターゼ染色(NAP染色)	清水 愛李
第15講 前期総復習	清水 愛李
計 30 コマ	

区分	臨床·専門分野	授業科目名	化学:	分析検査学	単位数	1単位
対象学年	2年次	開講時期	前期・	後期 • 通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	東秀次	実務経験	有·無 実務経験 内容	検査センター勤務		
授業の目的・	 標			┃ ┃成績評価の方法		
	謝と機能及び臨床的]意義を理解し	その測定法・	出席状況·定期試	験	
測定原理を学	ぶ。 目、検査値の臨床的	音美な理解す	Z			
大忠 C 快重項	日、快宜他の臨床的	思我と理解 9	ବം			
授業の概要・持		_		テキスト・参考資料		
各測定物質の	体内代謝と機能の説	記明。小テスト。		臨床化学検査学/[医歯薬出版	
		授	業計画			講師
第1回 講義の	進め方。データの読	み方。				東
第2回 糖質()	則定原理、糖尿病)					東
第3回 蛋白質	(基本と測定原理)					東
第4回 蛋白質	[(電気泳動)					東
第5回 非蛋白	性窒素(アンモニア、	尿素、クレア・	チニン)			東
第6回 非蛋白	1性窒素(ビリルビン)					東
第7回 脂質と						東
)測定、脂質異常症					東
	AST, ALT, ALP)					東
	(γ-GTP, LD, CK)					東
	(AMY、Ch-Est)					東
第12回 電解算						東
第13回 動脈1						東
	モンと機能検査					東
	薬物モニタリング					東

区分	臨床·専門分野	授業科目名		化学分	折検査学実習	単位数	2単位
対象学年	2年次	開講時期		前期・	後期 • 通年	講義形態	講義(実習)
担当教員名	東 秀次	実務経験	有 無	実務経験 内容	検査センター勤務		
授業の目的・					成績評価の方法		
	測定原理の理解と実 ・臨床的意義を理解す				定期試験およびプ	リント提出	
	いて基礎的精度管理		7				
各機器の操作	の理解						
授業の概要・	受栗万針 試薬を用いて測定を行	1、测定值1	用 測定	注の理解	テキスト・参考資料 臨床化学検査学/[
実習の解説。	KAZIII CALEI		= \ /A] /C	及り生肝。		公图未出版	
			業計画				講師
第1回 字習に	 -伴う採血の練習・注意	—————— 5事項					 東
	た度計の基本的操作・						 東
	た度計・吸収スペクトル		7極大権				東
	別定(H2O2・POD系呈			щ			東
	定(水素供与体の変			節囲の変化`)		東
	定(解糖阻止剤の働		<u>. C /X1 /C =</u>	<u>- 5四 V X 10 ,</u>	,		東
	パク測定(ビウレット法						東
	<u>, ・) 原</u> 定(こ <u>)) </u>	3/					東
	`ミン分画(BCP法・BC	CP法の比較・	~回帰ュ	せい はいまた はいま はいま はい	(1)		東
	ペク分画(電気泳動法)						東
第11回 アンモ							東
第12回 乳酸	脱水素酵素測定(原理	星の理解・初遠	速度分析	法・紫外部	測定法)		東
第13回 中性	脂肪測定						東
第14回 血清	鉄·TIBC·UIBC						東
第15回 前期(のまとめ						東
Ī							1

区分	臨床·専門分野	授業科目名	微生物	検査学実習	単位数	2単	位
対象学年	2年生	開講時期	前期・	後期 • 通年	講義形態	講義(実習)
担当教員名	横溝 勝	実務経験(実務経験内容	国立長崎長崎中央 国立嬉野病院 9年 国立小倉病院 2年 微生物検査に従事	∓ ∓		
受業の目的・	標	<u> </u>		成績評価の方法			
	支や基本をしっかり身 解し、その感染の危障			定期試験・出席点	•実習態度		
受業の概要・排	受業方針			テキスト・参考資料	等		
枚科書・プリン	トを中心に実習を行	5.		最新臨床検査学課 出版) 臨床微生物検査/			生(医歯
		授業	計画	<u> </u>		講師	师
- 第1回 グラ	ム陽性球菌(準備/写	星習)				横溝	勝
第2回 グラ	ム陽性球菌(同定/角	解説) 薬剤感受	性(説明・実習準	備)		横溝	勝
	ム陽性球菌(薬剤感					横溝	<u></u> 勝
第4回 Past	eurella科(座学)					横溝	勝
第5回 Past	eurella科(説明/準備	請/実習)				横溝	勝
第6回 Past	eurella科(実習/解詞	()				横溝	勝
第7回 ブド	ウ糖非発酵菌(座学))				横溝	勝
第8回 ブド	ウ糖非発酵菌(説明/	/準備/実習)				横溝	勝
第9回 ブド	ウ糖非発酵菌(実習/	/解説)				横溝	勝
第10回 Bru	ıcella属/Francisellla	a属/Lgionella属	(座学)			横溝	勝
第11回 グラ	ラム陰性桿菌(薬剤原	感受性検査/説明	-実習準備)			横溝	勝
第12回 グラ	ラム陰性桿菌(薬剤原	^茂 受性検査実習)				横溝	勝
第13回 Ae	romonas属(座学) • V	ïbrio属(座学/準	備/実習)			横溝	勝
第14回 Vib	rio属(実習/解説)					横溝	勝
第15回 前	朝まとめ					横溝	勝

区分	臨床·専門分野	授業科目名	免疫	検査学実習	単位数	2単位	
対象学年	2年次	開講時期	前期・	後期 • 通年	講義形態	講義・	実習
担当教員名	今里 和義	実務経験(有	実務経験内容	♥ ■ 輸血・免疫検査			
授業の目的・ 抗原・抗体反応 習得させる。	目標 なの基礎的な知識を ³	里解し、実践に応	用できる技術を	成績評価の方法 ・定期試験 ・レポート評価 ・実習態度			
	受業方針 習得し、病態の変化に 地実習に活かせる。		試験等の関連	テキスト・参考資料・免疫検査学(医*・ 協床免疫検査技・スタンダード輸血・輸血のための検	学書院) 〔術教本 1検査テキスト	r.1.3.1	
		授業計画			特別講養	講	師
 免疫検査学の	基礎(1) IgM(完全)扩	「体の反応パター	ン	3	免疫グロブリン	今里	和義
 免疫検査学の	基礎(2) IgG(不完全)抗体の反応パタ	ーン		補体	今里	和義
 ABO式血液型	(1) 基礎と検査法					今里	和義
ABO式血液型	(2) オモテ・ウラ不一	·致の原因と対処		先	天性免疫不全	今里	和義
ABO式血液型	(3) 亜型の鑑別法					今里	和義
ABO式血液型	(4) 亜型の確定(唾泡					今里	和義
Rh式血液型(1))基礎と検査法			輸血検査用	検体保存方法	今里	和義
Rh式血液型(2))追加試験					今里	和義
不規則抗体(1)	基礎と検査法			ABO·Rh.	以外の血液型	今里	和義
不規則抗体(2)	抗体スクリーニング	····································				今里	和義
不規則抗体(3)	抗体同定法					今里	和義
交差適合試験						今里	和義
自己免疫疾患	抗核抗体とリウマチ	f因子				今里	和義
容解反応 PNI	н≿РСН					今里	和義
その他の免疫	学的検査法と免疫化	学分析法				今里	和義

区分	臨床·専門分野	授業科目名		臨床生	主理検査学	単位数	1
対象学年	2年生	開講時期		前期・	後期 • 通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	髙橋 雄大	実務経験	有-無	実務経験 内容		レター心電図、	解析など 担当経験
授業の目的・ 心電図の基礎	目標 きの復習を行う。異常心	・電図についっ	て必要な	知識を学る	成績評価の方法 定期試験		
授業の概要・ 異常心電図派	授業方針 を形を提示しながら授業	きを行う。			テキスト・参考資料 医歯薬出版/臨床相		理機能検査学
		授	業計画				講師
第1回 正常心	心電図復習						髙橋雄大
第2回 異常心	い電図 総論①						髙橋雄大
第3回 異常心	い電図 総論② 頻脈・	静脈					髙橋雄大
第4回 期外4	又縮						髙橋雄大
第5回 細動・	粗動						髙橋雄大
第6回 ブロッ	ク・WPW症候群						髙橋雄大
第7回 心筋机	更塞·狭心症						髙橋雄大
第8回 ペース	ベメーカー・電解質異常						髙橋雄大
第9回 QT延	長症候群・小児心電図						髙橋雄大
第10回 運動	負荷心電図・その他						髙橋雄大
第11回 波形	読解						髙橋雄大

区分	臨床·専門分野	授業科目名		臨床生	主理検査	£学	単位数	1
対象学年	2学年	開講時期		前期・			講義形態	
担当教員名	松田 一之	実務経験	有無	実務経験 内容		5~2015年 病	院での生理権	検査室実務経験有り
授業の目的・	<u> </u> 目標	<u> </u>		<u> </u>		価の方法		
1. 脳波の機序 2. 正常脳波の る。	F、基本的要素につい)生理的変化を理解し	て理解する。 、異常脳波を	判読する	る力をつけ	ペーパ	一テスト		
脳波の生理的	授 業方針 本的なことを理解する 1変化(年齢・睡眠)を4 動異常、突発性異常	判読する力を	つける。	を持つ。	生理機 脳波検	ト・参考資料等 能検査学(医 査実記録 スタディー用服	歯薬出版)	
		授	業計画					講師
1コマ 脳の構	造と機能							松田一之
2コマ 脳波発	現の機序、基礎的要	素						松田一之
3コマ 正常脳	<u> á波(生理的変化と賦活</u>	舌法)						松田一之
4コマ 異常脳	á波、ケーススタディー							松田一之
						,		

		I						
区分	臨床·専門分野	授業科目名 臨床生理			理検査学実習	単位数	2	
対象学年	2年生	開講時期		前期・	後期 • 通年	講義形態	講義・実習	
担当教員名	髙橋 雄大	実務経験	有-無	実務経験 内容	12誘導心電図、ホル	ルター心電図、	解析 担当経験	
授業の目的・ 心電図計の構 験者への対応	成や安全管理につい	て学ぶ。心電	図測定(の手技と被	成績評価の方法 定期試験			
授業の概要・ 正常な心電図	受業方針 が記録できるように実	習を行う。			テキスト・参考資料 医歯薬出版/臨床材	-	理機能検査学	
			業計画		<u> </u>		講師	
第1回 心雷区 第1回 心雷区	検査の注意事項・心	雷図計					髙橋雄大	
第2回 心電区 第2回 心電区		· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •					髙橋雄大	
	実習・アーチファクト						髙橋雄大	
	実習・アーチファクト						髙橋雄大	
	」 実習・運動負荷						髙橋雄大	
	宝習·運動負荷						髙橋雄大	
	国実習・ホルター心電図	<u>z</u>					髙橋雄大	
第8回 心電図		-					髙橋雄大	
第9回 心電図							髙橋雄大	
第10回 波形							髙橋雄大	
第11回 波形							髙橋雄大	
212 112 112 1	2071							

区分	臨床·専門分野	授業科目名		臨床生理	里検査学実習	単位数	2
対象学年	2学年	開講時期	(前期・	後期 • 通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	松田 一之	実務経験	有 無	実務経験 内容	1982年~2015年:	病院での生 理検	を査室実務経験有り
皮検査が実施	置部位、導出法、脳波		 解し、基本	卜的な脳	成績評価の方法 実習態度 ペーパーテスト		
協決計につい	受業方針 床的意義を理解する て理解し、アーチファ 施することができる。	。 クトの発現に対	対応できる	5.	テキスト・参考資料 生理機能検査学(服 脳波検査実記録 ケーススタディー用 DVD	医歯薬出版)	
		授	業計画				講師
コマ 電極の	配置部位						松田一之
コマ 導出法	、モンタージュ作成						松田一之
コマ 脳波計	-						松田一之
コマ アーチ	ファクト						松田一之
コマ 脳波検	査の実施						松田一之
コマ 脳波検	査の実施						松田一之
コマ 脳波検	査の実施						松田一之
コマ 脳波検	査の実施						松田一之

区分	臨床•基礎分野	授業科目名		1	心理学	単位数	1単位
対象学年	2年生	開講時期		前期 •<	後期 通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	長浦 由紀	実務経験	有-無	実務経験 内容	医療(総合診療科、 大学・専門学校)、 究活動	. 内科、精神科) 産業領域での相	、教育(小・中・高校・ 目談業務及び教育・研
調べたことを路 てまとめられる	目標 関する基本的な知識。 皆まえ自身の考えを読 らようになる。(3)グル の認知や行動傾向を	み手に分かり ープワークをi	やすくレ 通し、体!	ポートとし 験的に患	成績評価の方法 レポート40点、期ま ン時に説明。	末試験60点*i	羊細はオリエンテーシ
さらに、医療現 し、レポート課 は、HIV検査相	受業方針 集団などの側面から 場で患者や医療スタ 題やグループワークで 談を取り上げ、受検 識を、体験的理解に	ッフとのコミュニ を実施する。グ 者心理や支援	ニケーシ ループ「 を学ぶこ	ョンを想定 フークで ことで、心理		-	する。
		授	業計画				講師
11月16日(月)							
第1回	オリエンテーション	学習記憶動	機付け				長浦由紀
第2回	カウンセリング(グル	一プワーク準値	帯)				長浦由紀
11月30日(月)							
第4回	知能						長浦由紀
第5回	発達						長浦由紀
12月7日(月)							
————— 第6回	知覚						長浦由紀
第7回	コミュニケーションス	キル(グループ	<u>゚ワーク)</u>	ı			長浦由紀
12月21日(月)							
第9回	パーソナリティ						長浦由紀
	対人関係 集団心理	!					長浦由紀
1月18日(月)							
第3回	感情とストレス						長浦由紀
第8回	精神障害とメンタルイ	、 ルス					長浦由紀

区分	臨床•専門分野	授業科目名		臨床	病理学総論	単位数	1
対象学年	2年生	開講時期	前	期(後期・通年	講義形態	講義 実習
担当教員名	南 惣一郎	実務経験		務経験 内容	日から現国立大学法 る。この間、臨床化学 輸血検査、遺伝子検 クリ指導、研修医指導	人長崎大学病院 検査、血液凝固 査に従事した。 章、薬学部学生	F取得、昭和56年4月1 完検査部へ勤務してい 団検査、微生物検査、 司時に医学部学生ポリ 実習指導、糖尿病療養 査技師臨地実習指導
授業の目的・	目標				成績評価の方法		
総合的知識を ②各疾患の診 し、臨床検査の	断・治療・予後判定に D意義と重要性を理解	必要な臨床権			定期試験		
	受業方針 って、各章ごとに捕捉討 り返りを行うことで理解		がら講義を進	≝める。	テキスト・参考資料等 臨床検査学講座 臨床医学総論/臨床		医歯薬出版)
	講師						
1. 循環器疾患	の検査、呼吸器疾患	の検査、消化	器疾患の検	········ (查、			南 惣一郎
	患の検査、感染症の						南 惣一郎
3. 内分泌疾患	の検査、腎・尿路疾患	鼠の検査、体泡	夜•電解質•	酸−塩基	平衡の検査		南 惣一郎
					検査、代謝・栄養異常の 検査、悪性腫瘍の検査		南 惣一郎

	1			1					
区分	臨原	末•専門分野	授業科目名		病態角	解析学 演	習	単位数	2
対象学	年	2年生	開講時期		前期・○			講義形態	講義・実習
担当教員	1名 古日	田 智春 他	実務経験	有無	実務経験 内容	検査セ	ンター勤務		
授業の目	的·目標					成績評	価の方法		
し協力して の形態を	て一つの結! 学んでいく。	果へと導いて また、パソコ	画、計画、実習を いくことで、実社 ンを使ってのプ 用できるものと考	会でのラ レゼンテ	チーム医療		況、授業態度、	、発表点	
	要·授業方					テキスト	··参考資料等		
			究を進めていく。 学校研究発表会						
			授	業計画					講師
第1回 台	グループ・ 自	自主研究テー	マ決め						
第2回	自主研究								
第3回	自主研究								
第4回	自主研究								
第5回	自主研究								
第6回	自主研究								
第7回	自主研究								
第8回	自主研究								
第9回	自主研究								
第10回	自主研究								
第11回	自主研究								
第12回	自主研究								
第13回	自主研究								
第14回	自主研究								
第15回	自主研究								
第16回	自主研究								
第17回	自主研究								
第18回	自主研究								
第19回	自主研究								
第20回	自主研究								
※ 講師(は内勤講師	が内容に応し	〕担当する。						

区分	臨床•専門分野	授業科目名	病理検査学実習	単位数	1単位
対象学年	2年次	開講時期	前期・後期・通年	講義形態	講義(実習)
担当教員名	諸隈 博	実務経験	有 無 実務経験 内容		は体処理・染色からスク する。

授業の目的・目標 ①病理細胞診業務の目的と実際を理解する。 ②細胞診に必要な正常細胞像と悪性細胞像を理解する。 ③細胞診業務の検体処理から染色までを理解する。 ④スクリーニング業務から診断までを理解する。

|成績評価の方法

出欠状況·定期試験

授業の概要・授業方針

①細胞の写真スライド、実際の染色標本を使って正常から悪性までの基礎的な細胞像を学習する。②検体処理、染色、細胞の読みを実習する(班単位で教えあうことが重要)。 ③国家試験を意識した 内容も取り上げる。

テキスト・参考資料等

実践細胞診テキスト

·最新臨床検査学講座

病理学/病理検査学

・講師作成資料 など

授業計画	講師
第1回 細胞診断学総論	諸隈 博
第2回 婦人科細胞診 1(子宮頚部:正常、ホルモン、感染症)	諸隈 博
第3回 婦人科細胞診 2(子宮頚部:異形成~悪性)	諸隈 博
第4回 婦人科細胞診 3(子宮体部、その他)	諸隈 博
第5回 検体処理~染色 1(講義)	諸隈 博
第6回 呼吸器細胞診 1(正常、感染症)	諸隈 博
第7回 呼吸器細胞診 2(異形成~悪性腫瘍)	諸隈 博
第8回 鏡検実習 1(婦人科、呼吸器)	諸隈 博
第9回 鏡検実習 2(婦人科、呼吸器)	諸隈 博
第10回 その他の細胞診 1	諸隈 博
第11回 その他の細胞診 2	諸隈 博
第12回 その他の細胞診 3	諸隈 博
第13回 検体処理~染色 1(講義)	諸隈 博
第14回 検体処理~染色 2(実習)	諸隈 博
	諸隈 博
第16回 鏡検実習(総合)	諸隈 博
	1
	†

区分	協床· 専門分野	授業科目名	血液植	食 查学実習	単位数	1単位
対象学	2 年 2年生	開講時期	前期 •	後期・通年	講義形態	講義(実習)
担当教		実務経験	実務経験 内容	病院に34年(計39年 その間、日臨技血? 平成15年には認定	₣臨床検査技師 夜検査研究班₹	H長などを歴任、
止血、凝	目的・目標 :固、線溶等について臨床 :え、各項目について実習し			成績評価の方法 出欠状況、授業態が 能力も評価したい。		
各項目に	既要・授業方針 こついて、基礎的な用手法 ^ュ 心に実習する。	による検査で、	試薬の特性や原	テキスト・参考資料 教科書(医歯薬出版 の添付書などを使り	反社)の血液検	査学を中心に、試薬等
		授	業計画			講師
第1講			習と実習予定項目の □管抵抗試験(陰圧			今村 文章
第2講	凝固時間:基礎 全血凝固時間、Ca再加時	持間				今村 文章
第3講	凝固時間:外因系 PT					今村 文章
第4講	凝固時間:内因系 APTT					今村 文章
第5講	凝固時間: 複合因子 TT					今村 文章
第6講	凝固時間: 第3相 フィブリノゲン					今村 文章
第7講	クロスミキシング試験 血友病抗体など					今村 文章
第8講	凝固阻止機構・線溶機構 アンチトロンビン・プラスミ		見象			今村 文章
第9講	線溶機構・繊維素溶解現 FDP・DーDダイマー	. 象				今村 文章
第10講	予備					今村 文章

区分	臨床·専門分野	授業科目名	:	遺伝子・染作	色体検査学実習	単位数	1
対象学年	2年生	開講時期		前期 •	後期・通年	講義形態	講義(実習)
担当教員名	松本 成良 他	実務経験	有-無	実務経験 内容	遺伝子検査室にて遺 の報告を実務経験と	遺伝子変異等	の検出、解析、臨床へ
	目標 酸増幅、増幅産物の検 食査としての判定がで				成績評価の方法 筆記試験		
授業の概要・ 遺伝子検査の 得する。	受業方針)原理を理解し、基礎知	口識を深め、正	Eしい基ス	本操作を習	テキスト・参考資料等 医学書院発行 遺伝	-	
	授業計画						
遺伝子検査の)概要1(講義)						佐々木·森·松本·山内
)概要2(講義)						佐々木·森·松本·山内
	酸抽出(実習)						佐々木·森·松本·山内
血液からの核	酸抽出(実習)						佐々木·森·松本·山内
核酸抽出まと	め(講義)						佐々木·森·松本·山内
遺伝子増幅法	・核酸検出法(講義)						佐々木・森・松本・山内
PCR法による	遺伝子増幅(実習)						佐々木·森·松本·山内
アガロースゲル	ル電気泳動による増幅	産物の検出	(実習)				佐々木·森·松本·山内
アガロース電気	気泳動像の観察および	解説(実習)					佐々木·森·松本·山内
遺伝子増幅法	・核酸検出法まとめ(講義)					佐々木·森·松本·山内
遺伝子増幅法	・核酸検出法・応用(詞	講義)					佐々木・森・松本・山内
PCR法によるi	遺伝子増幅・応用(実習	習)					佐々木·森·松本·山内
	ル電気泳動による増幅	産物の検出・	·応用(実	(習)			佐々木·森·松本·山内
アガロースゲル		(解説(宝習)					佐々木·森·松本·山内
	気泳動像の観察および						# # * * * * * * * * * * * * * * * * * *
アガロース電気	気泳動像の観察および 本検査学実習まとめ(i						佐々木·森·松本·山内
アガロース電気							佐々木・林・松本・山内
アガロース電気							佐《水•森•松本•山内
アガロース電気							佐仪木・林・松本・川内
アガロース電気							佐仪木•耕•松本•Ш內

区分	臨床•専門分野	授業科目名		化学分析	近 「検査学実習	単位数	1単位
対象学年	2年次	開講時期		前期 •(後期・通年	講義形態	講義(実習)
担当教員名	東 秀次	実務経験	有無	実務経験 内容	検査センター勤務	· 分	
生化学的意義	測定原理の理解と実 ・臨床的意義を理解す いて基礎的精度管理	ける。	1		成績評価の方法 定期試験および	プリント提出	
授業の概要・ 実際に機器、 実習の解説。	授 業方針 試薬を用いて測定を行	「い、原理、測	定法の	理解。	テキスト・参考資 臨床化学検査学		
		授	業計画				講師
第1回 前期多	ミ習まとめ、前期試験角	解説					東
第2回 ALP流	5性測定						東
第3回 ALP流	5性測定実習(抗凝固	剤との相違)					東
第4回 添加回	可収試験						東
第5回 添加回	回収試験解説						東
第6回 AST・	ALT測定実習						東
第7回 AST·	ALT測定実習解説						東
第8回 まとめ							東

-							
区分	臨床•専門分野	授業科目名		微生	物検査学	単位数	1単位
対象学年	2年生	開講時期		前期 •	後期・通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	横溝 勝	実務経験	有-無	実務経験 内容	国立長崎長崎 国立嬉野病院 国立小倉病院 微生物検査に	2年	1
授業の目的	- 目標				成績評価の方法		
基礎的に学ん学び理解して	んだことを各微生物につ いく。	ついて応用し、	各検査	法や手技を	定期試験・出席	· 点	
授業の概要	・授業方針				テキスト・参考す	資料等	
教科書を中心	♪にミニテストを交えなフ	がらすすめて	いく。		最新臨床検査 ^会 出版)	学講座 微生物学/	臨床微生物学(医歯薬
		授	業計画				講師
第1回	バシラス属(グラム陽性	有芽胞∙好気	(性菌))				横溝 勝
第2回	コリネバクテリウム属(イ	グラム陽性好	気性桿菌	勤)			横溝 勝
第3回	マイコバクテリウム属						横溝 勝
第4回	ノカルジア属						横溝 勝
第5回	嫌気性菌について						横溝 勝
第6回	嫌気性球菌(グラム陽	生•陰性)					横溝 勝
第7回	嫌気性桿菌(グラム陽	生•陰性)					横溝 勝
第8回	嫌気性芽胞菌						横溝 勝
第9回	スピロへ一タ科・レプトス	スピラ科					横溝 勝
第10回	マイコプラズマ科						横溝 勝
第11回 「	Jケッチア・クラミジア科						横溝 勝
第12回 🔻	検査材料別検査法						横溝 勝
第13回 🕏	<u> </u>						横溝 勝
第14回 🔻	<u> </u>						横溝 勝
第15回	総括						横溝 勝

区分	臨床·専門分野	授業科目名	微生物	検査学実習	単位数	1単位
対象学年	2年生	開講時期	前期・	後期・通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	横溝 勝	実務経験	有 無 実務経験 内容	国立長崎長崎中央病院 国立嬉野病院 9年 国立小倉病院 2年 微生物検査に従事	完 1年6カ月	
授業の目的	目標		<u>. </u>	成績評価の方法		
真菌、嫌気性特徴をさらに	ŧ菌について、手技や基 理解し、その取り扱いも	本をしっかり や感染の危険	身に着ける。菌の 性など学ぶ。	定期試験・出席点・実習	習態度	
授業の概要	·授業方針			テキスト・参考資料等		
教科書・プリ	ントを中心に実習を行う	j.		最新臨床検査学講座 出版) 臨床微生物検査ハンド		
		授	業計画			講師
第1回	真菌(総論)					横溝 勝
第2回	真菌(各論)					横溝 勝
第3回	実習(真菌)					横溝 勝
第4回	実習(真菌)					横溝 勝
第5回	実習(真菌)					横溝 勝
第6回	嫌気性菌					横溝 勝
第7回	嫌気性菌					横溝 勝
第8回	検体培養					横溝 勝

区分	専門分野	授業科目名	輸血•移	植検査学実習	単位数	1単位
対象学年	2年次	開講時期	前期 ・(後期・通年	講義形態	講義·実習
旦当教員名	今里 和義	実務経験	実務経験 内容	輸血·免疫検査		
業の目的・ 抗原・抗体原 を習得させる	反応の基礎的な知識	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	▲ ★ 本のできる技術	成績評価の方法 ・定期試験 ・レポート評価 ・実習態度		
		で化に対応できる追が せるようにする。	加試験等の関	テキスト・参考資料・免疫検査学(医・臨床免疫検査打・スタンダード輸」・輸血のための核	学書院) 技術教本	r.1.3.1
		授業計画			特別講義	講師
肝炎ウイルス	ス検査					今里 和義
梅毒血清反	応					今里 和義
その他の感	染症検査(1) マイ=	1プラズマ肺炎			細胞性免疫	今里 和義
その他の感	染症検査(2) 伝染	生単核症とクラミジブ	ア肺炎			今里 和義
炎症反応と	腫瘍マーカー					今里 和義
新生児溶血	性疾患(1) 自然抗(体と免疫抗体の鑑別	l法(2ME処理)			今里 和義
新生児溶血	性疾患(2) 基礎と	食体作製				今里 和義
新生児溶血	性疾患(3) 基礎と					今里 和義

区分	臨床·専門分野	授業科目名	臨	床生理検査		単位数		1
対象学年	2学年	開講時期	前期	後期・		講義形態	講義)• 実習
担当教員名	城宏史	実務経験	有)無 実務経 内容	験	態能検査を25年	年の実務		
的知識と同様	目標 こともに生命の維持 まに酸塩基に関する まを深めてほしい。			楚 ①毎回	価の方法 1授業前に小う 射試験 ③授	Fスト 業態度		
等を示しなが	授 業方針 つて基礎的理解と医 ぶら、実習も含め授業 問題も踏まえた講義	ミに生かしてい	ゆく。	臨床生	ト・参考資料等 三理検査学教ス ブステキスト 呼 対本)	本 肺機能す		本(JAMT
		授	業計画				ī	講師
第1同.呕		年上の復	<u> </u>				城	 宏史
- 第1回.时:	火工性の基礎()	十工の後	<u> </u>				7%	<u> </u>
第2回:換	気機能検査の概念	念と定義_					城	宏史
第3回:肺		の概念と原	 [理				城	宏史
# 4 D + 1	***********	<u> </u>	тш				+ct:	 宏史
	<u>夜ガス分析検査の</u> 基礎代謝の概念と		<u>埋</u>				为以	丛义
4		- 大阪						

区分	臨床•専門分野	授業科目名		臨床	生理検査	学	単位数	1
対象学年	2年生	開講時期		前期 •(後期・		講義形態	講義・実習
担当教員名	髙橋 雄大	実務経験	有-無	実務経験 内容	消化器 担当経	·上下肢血管 験	・心臓・関節・	甲状腺超音波検査
授業の目的・ 超音波の基礎	目標 と各種領域の超音波	検査に必要な	知識に	ついて学ぶ	成績評 定期試	価の方法 験		
授業の概要・	受業方針 ・アーチファクト・画像	ただについて	悪美太久	=3		∵参考資料等		理機能検査学
起自放砂茎碗	・ナーナンナンバー画像・	4212 JUIC	研技で1	J J °	区图来	山 NX / Em 1本1失	且于碑庄 工	<u>华(风配仪且于</u>
		授	業計画					講師
第1回 超音波	なの基礎①							髙橋雄大
第2回 超音波	める 基礎②							髙橋雄大
第3回 腹部起	2音波							髙橋雄大
第4回 心臓起	宣音波							髙橋雄大
第5回 表在・	血管•婦人科•泌尿器	超音波						髙橋雄大

区分	臨床·専門分野	授業科目名	臨床生	理検査学実習	単位数	1単位
対象学年	2年生	開講時期	前期 •	後期・ 通年	講義形態	講義·実習
担当教員名	小丸 検造	実務経験(実務経験 内容			眼底検査及び腹部
	1標 皮験者を体験すること て素早く正確に検査			成績評価の方法 定期試験		
	検査と眼底検査にお エコー検査を実施す			テキスト・参考資料 臨床生理学教本。 操作説明書。		+と眼底カメラの機器
		授第	美計画	I		講師
第1回 末梢運	動•感覚神経伝導検	全の実技(被駁	食者体験)			小丸検造
第2回 末梢運	動神経伝導検査の	実技(験者の体)	験)前半			小丸検造
第3回 末梢運	動神経伝導検査の	実技(験者の体)	験)後半			小丸検造
第4回 F波伝 ²	導検査の実技					小丸検造
第5回 聴性脳	(幹反応検査の実技					小丸検造
第6回 腹部工	コーの体験					小丸検造
第7回 眼底検	査の撮影実技 前半	<u>t</u>				小丸検造
第8回 眼底疾	患の撮影実技 後半	<u> </u>				小丸検造

区分	臨床·専門分野	授業科目名	臨床生理	里検査学実習	単位数	1
対象学年	2学年	開講時期	前期 •(後期・通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	城 宏史	実務経験有	実務経験内容	呼吸機能検査を	25年の実務	
的知識と同様	目標 とともに生命の維持 に酸塩基に関する を深めてほしい。			成績評価の方法 ①毎回授業前に ②定期試験 ③	小テスト ①授業態度	
等を示しなが	受業方針 かて基礎的理解と医 ら、実習も含め授業 引題も踏まえた講義	ミに生かしてゆく。		テキスト・参考資料 臨床生理検査学 血液ガステキスト 技術教本)	教本 肺機能テ	キスト 技術教本(JAMT
		授業計	十画			講師
第1回:肺機	能検査の記号・	単位・気体の	表示と肺気量	量分画について		城 宏史
	パイロメトリーとフ! パイロメトリー <i>の</i>		曲線につい	て及び測定手	支	城 宏史
第3回 : VC•	FVC·MVV·CV·	FRC•Dlco測定	三手技と実習		切	t・実習時補助者
	をガス分析の実際 基礎代謝の概念と		び解釈につ	いて		城 宏史
						_
·						

区分	臨床·専門分野	授業科目名	画像	検査学実習	単位数	2
対象学年	2年生	開講時期	前期(後期・通年	講義形態	講義·実習
担当教員名	髙橋 雄大	実務経験	有·無 実務経験 内容	消化器·上下肢血管· 担当経験	心臓・関節・甲状脈	泉超音波検査
授業の目的・ 各種領域の起	目標 3音波検査に必要な知	識や手技につ	いて学ぶ。	成績評価の方法 定期試験		
授業の概要・ 正常な画像の	授業方針 描出ができるよう各領	域ごとに実習	を行う。	テキスト・参考資料等 医歯薬出版/臨床検		能検査学
			授業計画			講師
第1回 腹部起	図音波実習(肝臓・胆 <i>の</i>)う・腎臓・膵臓	繊・ 脾臓)			髙橋雄大
						髙橋雄大
						髙橋雄大
第4回 心臓起						髙橋雄大
	置音波実習					髙橋雄大
	型音波実習					髙橋雄大
		或(頸動脈・下	肢動静脈乳腺•甲ෳ	大腺・リンパ節、婦人科	··泌尿器科実習)	髙橋雄大
第8回 超音派				24 (1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		髙橋雄大

区分	臨床•専門分野	授業科目名		検査	1単位			
対象学年	2年次	開講時期		前期 •	後期)・	通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	諸隈 博	実務経験	有無	実務経験 内容	検体検 技師長	査から生理検査 職としての検査	をまでの全体 管理業務の	いな経験があり、ま 経験を有する。
検査情報の重 体の適切な処	目標 おける検査室の役割・ 要性を理解する。 ② 理方法・保存方につい 証するための精度管理	臨床検査のst て学習する。	全領域に ③患者	おける検 11全体情報	出欠状	価の方法 況・定期試験		
育などについて 用語の解説、 理業務につい	受業方針 に行う。臨床検査技師 て法律を交えて学習す 検体の取り扱い、臨床 ても基礎的なことを中 せる。 ③さらには国家	る。 ②検査 検査の生命線 心に学習し、	管理業務 泉と言え 関連する	別に必要なる精度管 る精度管 5科目の授	•最新路 •講師作	・・参考資料等 扉床検査学講座 F成資料など	検査総合	管理学
		授	業計画					講師
第1回 1章	臨床検査技師の役害	と使命						諸隈 博
第2回 2章	臨床検査の意義							諸隈 博
第3回 3章	検査管理の概念							諸隈 博
第4回 4章	検査部門の組織と業	務						諸隈 博
第5回 5章	検査部門の管理と運	営						諸隈 博
第6回 予備	i(小テストなど)							諸隈 博
第7回 6章	検体の採取と保存							諸隈 博
第8回 6章	検査の受付と報告							諸隈 博
第9回 7章	検査の精度保障 1							諸隈 博
第10回 7章	検査の精度保障 2							諸隈 博
第11回 8章	検査情報							諸隈 博
第12回 予備	睛(小テストなど)							諸隈 博

区分	臨床·専門分野	授業科目名		***	 英理学	単位数		1
対象学年		開講時期		前期・	後期 · 通年	講義形態	講義	 · 実習
担当教員名	岡本 信惠	実務経験	有-無	実務経験 内容	・愛媛県立衛生研究所 症サーベイランス事業 ・対馬いづはら病院勤: ・塩塚薬局 調剤、一般	疫学情報科勤務 腎 、腎移植、骨髄移植: 務、薬局にて調剤業	予移植センター 適合検査等に 務、検査室に	-兼務、感染 -携わる。
ようにする。 ②薬物の体内重 きるようにする。	がを理解し、医療品のが が態を理解し、薬物相互に対する薬物の影響等	作用とその回え	壁法につし	ハて説明で	成績評価の方法 出席と試験の結果 テキスト・参考資料			
①~③が修得	できるよう、教科書と	資料を用いて	の講義と	演習	これならわかる!ヨ	薬理学(丸山敬著	š)	
		授	業計画				講	師
1 薬理学の	概要						岡本	信惠
2 薬物と法令	À						岡本	信惠
3 薬物の作	用						岡本	信惠
4 薬物の効	果に影響を及ぼす要	因					岡本	信惠
5 薬物の投	与経路						岡本	信惠
6 薬物の体	内動態						岡本	信惠
7 薬物の相	互作用						岡本	信惠
8 薬物と臨足	末検査						岡本	信惠
9 まとめ							岡本	信惠
10 演習と解説	ž						岡本	信惠

区分	臨床•専門分野	授業科目名		医療罗	定全管理学	単位数	1単位
対象学年	2年生	開講時期		前期(講義形態	講義・実習	
担当教員名	森 英恵	実務経験	有 無	実務経験 内容	感染制御部門所属 感染管理認定看護師		
受業の目的・	目標	<u> </u>			成績評価の方法		
医療事故や院	内感染を未然に防ぐ	ための基礎知	コ識を学る	, No	出席状況 提出物提出状況(あっ 筆記試験	た場合)	
受業の概要・技	受業方針				テキスト・参考資料等		
構義形式の他 療安全や感染	、グループワークや源 予防の知識を深める	寅習を通し、臨 。	語床の場で	ぎ必要な医	必要時、プリントを配布	īする。	
		授	業計画				講師
. チーム医療	Ē						森 英恵
2. 検体採取に	おける安全対策・感	染防止対策					森 英恵
•臨床検査	技師の検体採取						
・各部位か	らの検体採取						
•職業感染							
3. ヒューマン	エラー						森 英恵
・リスクマネシ							森 英恵
	安全を学ぶのか考え						
	ナる医療安全の取り終	且み紹介					
	:コミュニケーション 						森 英恵
・情報伝達:	_{エフ} ー の医療安全						
	の医療女主 持の対応 患者誤認防						 森 英恵
		· 					孙 大心
							 森 英恵
		•					

森 英恵

森 英恵

・患者取り違え、検体取り違え(KYT) ・事例をもとに分析 (なぜなぜ分析)

・手指衛生、個人防護具について

・接触、飛沫予防策(インフルエンザ、ノロウイルスを中心に) ・空気予防策(結核を中心に、N95マスクフィットテスト等)

9. 標準予防策 取り組み紹介

10. 感染経路別予防策

区分	臨床·専門基礎分野	授業科目名			学概論》 報科学)	尾習	単位数		1
対象学年	3年生	開講時期		前期(後期	通年	講義形態		講義・実習
担当教員名	船津 由季子	実務経験	有·無	実務経験 内容	コンピュ 定・国語	-一タ専門学校 【対策などを受	等において、 け持った経	情報が 険あり	処理の授業、検
授業の目的・	目標	1			成績評	価の方法			
·臨床検査技館 ·医用工学(情	师試験合格 報科学)分野理解				定期試 課題提	験評価 出			
授業の概要・持	受業方針				テキスト	~•参考資料等			
過去問やプリ	ントなど、徹底解析				•過去問	5用試験3級テ 問題集 莫擬試験	キスト		
		授	業計画						講師
情報科学テキ	スト復習(五大装置等)						船津	由季子
ネットワーク関	連								由季子
セキュリティ関	連							船津	由季子
学生手持ち問	題集 解説							船津	由季子
								60.54	上エラ
過去模擬試験	集 解説・解答							船洱	由季子

区分	臨床•専門分野	授業科目名		病態解析学演習			単位数	1
対象学年	3年生	開講時期		前期·	後期	·通年	講義形態	演義・実習
担当教員名	藤田 修一	実務経験	有無	実務経験 内容		大学病院 病理診 診業務に携わって		部で、病理組織診断・
						評価の方法 ・訂正問題 (単位	認定試験)	

授業の概要・授業方針

テキスト・参考資料等

授業では、臓器別・原因別に疾患の病態を概説し、対応する検査法・指定の国家試験問題集や、その意義と結果の解釈を解説する。多数の臓器にわたって異常・最新臨床検査学講座 臨床医学総論/臨床検査医学をきたす疾患も多いので留意すること。本授業は国家試験の対策としての側面もあるため、既出の国家試験問題に即して授業を進める。

医学である。授業は疾患の原因や成り立ちを講義し、これに基づい て、検査の意義を理解し、検査結果を解釈できることを目的とする。

<u>授業計画</u>	講師
【前期】	
第1回 序論、病気の症状と検査	藤田修一
第2回 循環器疾患	藤田修一
第3回 循環器疾患	藤田修一
【後期】	
第1回 呼吸器疾患	藤田修一
第2回 消化器疾患	藤田修一
第3回 肝·胆·膵疾患	藤田修一
第4回 肝·胆·膵疾患	藤田修一
第5回 血液·造血器疾患	藤田修一
第6回 血液·造血器疾患	藤田修一
第7回 内分泌疾患	藤田修一
第8回 内分泌疾患	藤田修一
第9回 腎·尿路疾患	藤田修一
第10回 腎·尿路疾患	藤田修一
第11回 神経·運動器疾患	藤田修一
第12回 感染症	藤田修一
第13回 血液検査の異常	藤田修一
第14回 体液・電解質・酸-塩基平衡の異常	藤田修一
第15回 免疫異常	藤田修一
第16回 代謝·栄養障害	藤田修一
第17回 代謝·栄養障害	藤田修一
第18回 染色体・遺伝子の異常	藤田修一
第19回 悪性腫瘍の検査	藤田修一
第20回 総括	藤田修一

区分	臨床•専門分野	授業科目名		病	里検査学	単位数	1単位
対象学年	3年次	開講時期		前期 •	後期 ・ 通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	諸隈博	実務経験	有 無	実務経験 内容	病理検査学の全体的な理学を理解し、臓器の[的な経験を有する。		
授業の目的・ 病理検査学の	目標 全体的な復習を行い、	、国家試験合	旨す。	成績評価の方法 ・出欠状況 ・単位認定	試験 •卒氵	業認定試験	
	受業方針 実習(組織及び細胞詞 試験形式の問題で実践		理学総	論、各論の	テキスト・参考資料等 ・最新臨床検査学講座 ・医療系学生のための。 ・実践細胞診テキスト ・講師作成資料 など	— .	病理検査学 ŀ班)

授業計画	講師
第1回 臨地実習を前に	諸隈 博
第2回 細胞診(国試対策)	諸隈 博
第3回 病理検査動画(病理組織検査、術中迅速診断、細胞診、病理解剖)	諸隈 博
第4回 写真問題(組織)	諸隈 博
第5回 写真問題(細胞)	諸隈 博
第6回 病理組織標本作製の手順(固定~薄切) 凍結切片標本作製①	諸隈 博
第7回 病理組織標本作製の手順(固定~薄切) 凍結切片標本作製② 国試対策問題	諸隈 博
第8回 国試対策(染色 1)、問題	諸隈 博
第9回 国試対策(染色 2)、問題	諸隈 博
第10回 国試対策(染色 3)、問題	諸隈 博
第11回 国試対策(免疫染色)、問題	諸隈 博
第12回 国試対策(電子顕微鏡、病理解剖、病理検査業務の管理)、問題	諸隈 博
第13回 国試対策(細胞診1)、問題	諸隈 博
第14回 国試対策(細胞診2)、問題	諸隈 博
第15回 国試対策(病理組織学的検査 総合)、問題	諸隈 博
第16回 国試対策(病理学総論 1)、問題	諸隈 博
第17回 国試対策(病理学総論 2)、問題	諸隈 博
第18回 国試対策(病理学総論 3)、問題	諸隈 博
第19回 国試対策(病理学総論 4)、問題	諸隈 博
第20回 国試対策(病理学総論 5)、問題	諸隈 博
第21回 国試対策(病理学総論·各論 問題)1	諸隈 博
第22回 国試対策(病理学総論·各論 問題) 2	諸隈 博
第23回 国試対策(病理学総論·各論 問題)3	諸隈 博

区分	臨床•専門分野	授業科目名	血液	検査学	単位数	1単位
対象学年	3年生	開講時期	前期 ・ 後	期・通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	今村 文章	実務経験	有)無 実務経験 内容	三菱鉱業端島鉱病院核 病院に34年(計39年臨 この間、日臨技血液検 で成15年には認定血液	床検査技師 査研究班班	「として勤務)。 王長などを歴任、

授業の目的・目標

血液学に関して臨床検査技師として必要な基礎、検査、疾患等につ いて各項目について講義。検査結果から特徴的な血液疾患を鑑別 できることを目標にする。

成績評価の方法 出欠状況、授業態度は勿論であるが、質問に対する回答

能力も評価したい。最終的には単位認定試験、卒認試験

授業の概要・授業方針

前期は臨地実習に行くに当たり、身に着けておきたいマナーや最低限求められる質問に対応できることを目的とする。 後期は国家試験に向けて血液学の基礎から疾患をこうぎし、後半は

国試過去問を中心に解説する。

テキスト・参考資料等

での評価とする。

教科書(医歯薬出版社)の血液検査学を中心に、国家試 験問題解説集などを使用。

	講師
【前期】	今村 文章
第 1講 臨地実習の注意点と学内実習との違い ルーチン検査を中心に	今村 文章
第 2講 臨地実習施設における検査の現状、オーダリング・自動分析機・特殊検査等について	今村 文章
第 3講 血液検査(CBC・形態・凝固・線溶)の基礎と注意点	今村 文章
【後期】	
第 1講 血液の基礎・採血と抗凝固剤・・・・・成分、性状、機能、産生と崩壊	今村 文章
第 2講 赤血球・白血球・血小板の産生と崩壊	今村 文章
第 3講 赤血球・白血球・血小板の増減と疾患(1)	今村 文章
第 4講 赤血球・白血球・血小板の増減と疾患(2)	今村 文章
第 5講 止血機構・・・・血管と止血、血小板の機能、血小板に関わる疾患	今村 文章
第 6講 凝固の機序と凝固抑制機構、第1相、第2相、第3相、内因系、外因系、共通系	今村 文章
第 7講 凝固の検査(内因系、外因系、Fib、複合因子)	今村 文章
第 8講 線溶と線溶抑制の機序、線溶因子の産生と構造、機能、線溶抑制機構	今村 文章
第 9講 線溶因子及び抑制因子の検査、分子マーカー	今村 文章
第10講 出血性素因・・検査と疾患、血栓症・抗血栓療法	今村 文章
第11講 形態検査・・・・普通染色、特殊染色、MG染色、PO染色、Est染色ほか	今村 文章
第12講 末梢血、骨髄の観察・・・形態と疾患(形態異常)	今村 文章
第13講 白血病・・・・・急性白血病(FAB分類・WHO分類)慢性白血病と特殊白血病	今村 文章
第14講 国試過去問解説	今村 文章
第15講 国試過去問解説	今村 文章
第16講 国試過去問解説	今村 文章
第17講 国試過去問解説	今村 文章
第18講 国試過去問解説	今村 文章
第19講 予備	今村 文章

			. —					
区分	臨床•専門分野	授業科目名	特殊分		殊分析検査学 単位数		単位数	1単位
対象学年	3年次	開講時期		前期·	後期	· 通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	東秀次	実務経験	有無	実務経験 内容		センター勤務		
授業の目的・	目標				成績	評価の方法		
	験を中心に解説				定期	試験		
授業の概要・持						スト・参考資料		
国家試験の解	説、それに付随する値	箇所の説明。			臨床	化学検査学/医	· 歯薬出版	
		授	業計画					講師
第1回 国家試	【験対策 H2O2⋅PO[O系呈色反応						東
第2回 国家証	【験対策 グルコース》	則定						東
第3回 国家証	【験対策 糖尿病							東
第4回 国家試	【験対策 総タンパク・	アルブミン測!	定					東
第5回 国家証	大験対策 血清タンパク	カ分画						東
第6回 国家証	大験対策 アンモニア 源	則定						東
	【験対策 窒素と腎機							東
	大験対策 脂質測定							東
第9回 国家証	【験対策 コレステロー	-ル測定						東
第10回 国家	試験対策 酵素活性源	則定						東
第11回 国家	試験対策 酵素活性源	則定						東
第12回 国家	試験対策 金属·電解	質・ビタミン						東
第13回 国家	試験対策 動脈血ガス	ス測定 ニュー						東
第14回 国家	試験対策 まとめ							東
第15回 国家	試験対策 まとめ							東

-	ı	1						
区分	臨床·専門分野	授業科目名	臨床生理検査学(呼吸機能) 単位数				1	
対象学年	3年生	開講時期		前期 •	後期 通年 講義形態			講義・実習
担当教員名	坂口 みどり	実務経験	有無	実務経験 内容		検査セン	ター勤務後、	学校職員
授業の目的・	目標			•	成績	評価の方法		
呼吸機能検査	の原理と疾患の状態	を知る			単位	認定試験		
授業の概要・	受業方針				テキ	スト・参考資料等		
	いに国家試験問題にも いようディスカッションも		具味を持	てる授業展		薬出版 最新 検査学講座「生理	里機能検査学	<u>-</u> 1
		授	業計画					講師
第 1回 ス/	ペイロメトリの指標と評	価						坂口 みどり
第 2回 ス/	パイロメトリ検査の実施	(各自測定)						坂口 みどり
第 3回 ス/	パイロメトリ検査の実施	後データの身	見方					坂口 みどり
第 4回 ス/	ペイロメトリの指標と評	価						坂口 みどり
第 5回 換象	ā機能検査							坂口 みどり
第 6回 換象	気機能検査、スパイロ:	メトリの指標と	:評価(角	军説)				坂口 みどり
第 7回 換象	気機能検査、スパイロ:	メトリの指標と	:評価(角	军説)				坂口 みどり
第 8回 換象	ā機能検査、国家試験	問題						坂口 みどり
		問題(解答・)	解説)					坂口 みどり
		問題						坂口 みどり
第11回 換象	ā機能検査、国家試験	:問題(解答•#	解説)					坂口 みどり

区分	臨床•専門分野	授業科目名	臨床生理検査学 単位数		1単位		
対象学年	3年生	開講時期		前期(後期 通年	講義形態	
担当教員名	藤尾 理賀	実務経験	有無	実務経験 内容	長崎原爆病院にて、前 検査全般を担当。	·電図検査・	神経伝導検査等、生理
授業の目的・ 国家試験対策					成績評価の方法 単位認定試験		
授業の概要・ 国家試験過去	受業方針 問題の傾向と分析・	解説			テキスト・参考資料等 臨床検査学講座「第3		『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 』 『 『 』 『 『 』 『 『 』 『 『 』 『 。 『 。
		授	業計画				講師
第1回:国家	試験対策(脳波)						藤尾 理賀
第2回:国家	ː試験対策(心音、Jii	(波)					藤尾 理賀
第3回:国家詞	式験対策(筋電図検査 <i>、</i>	神経伝導検	査)				藤尾 理賀
<u>第4回:国家</u>	試験対策(MRI、聴	力検査、睡明	民検査)				藤尾 理賀

区分	臨床·専門分野	授業科目名	画像検査学 単位数			1単位	
対象学年	3年生	開講時期		前期・	後期 • 通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	城 宏史	実務経験	有 無	実務経験 内容	心電図検査、呼吸機能 成績評価の方法	検査、脳波	検査、超音波検査
授業の目的・【 前期】 病院実習に対 実習に対する 【後期】 心電図・超音》							
 心電図・超音波の基礎知識と理解を深める。 授業の概要・授業方針 「キスト・参考資料等 ソーシャルワーク実習ガイダンス資料 ・臨地実習のがイドライン2013 ・実習生の心構えとマナー ・実習の注意事項 【後期】 心電図・超音波の国試問題を解く 							5料
授業計画							講師
【前期】						·	
第1回 実習生の心構え						城 宏史	

授業計画	講師
【前期】	
第1回 実習生の心構え	城 宏史
第2回 実習生のマナーと注意事項	城 宏史
【後期】	
第1回 国家試験問題 心電図基礎	城 宏史
第2回 国家試験問題 超音波基礎	城 宏史
第3回 国家試験問題 超音波腹部	城 宏史
第4回 国家試験問題 超音波心臓	城 宏史
第5回 国家試験問題 超音波体表·婦人科·頸動脈	城 宏史
第6回 国家試験問題 心電図	城 宏史
第7回 国家試験問題 超音波	城 宏史
第8回 国家試験問題 心電図	城 宏史
第9回 国家試験問題 超音波	城 宏史
第10回国家試験問題 心電図	城 宏史
第11回国家試験問題 超音波	城 宏史
第12回国家試験問題 心電図	城 宏史
第13回国家試験問題 超音波	城 宏史
第14回国家試験問題 心電図	城 宏史
第15回国家試験問題 超音波	城 宏史
第16回国家試験問題 心電図	城 宏史
第17回国家試験問題 まとめ	城 宏史
第18回国家試験問題 まとめ	城 宏史
第19回国家試験問題 まとめ	城 宏史

区分	臨床·専門分野	授業科目名	枸	全管理総 記	1		
対象学年	3年生	開講時期		前期・後期・通年 講義形態			講義・実習
担当教員名	坂口 みどり	実務経験	有無	実務経験 内容	検査セン	ノタ一勤務後、	学校職員
授業の目的	- 目標	1	<u> </u>		成績評価の方法		
国家試験対	策と尿沈渣				単位認定試験		
授業の概要	•授業方針				テキスト・参考資料等	÷	
板書を中心に 受身にならな 開としたい。							
		授	業計画				講師
第 1回 第	_{「ファーストトレーニング}	+尿沈渣スラ	イド				坂口 みどり
第 2回 新	_{「ファーストトレーニング}	+尿沈渣スラ	イド				坂口 みどり
第 3回 新	_{「ファーストトレーニング}	+尿沈渣スラ	イド				坂口 みどり
第 4回 第	「ファーストトレーニング	+尿沈渣スラ	イド				坂口 みどり
第 5回 新	_{「ファーストトレーニング}	+尿沈渣スラ	イド				坂口 みどり
第 6回 親	「ファーストトレーニング	+尿沈渣スラ	イド				坂口 みどり
第 7回 新	_{「ファーストトレーニング}	+尿沈渣スラ	イド				坂口 みどり
第 8回 新	「ファーストトレーニング	+尿沈渣スラ	イド				坂口 みどり
第 9回 新	「ファーストトレーニング	+尿沈渣スラ	イド				坂口 みどり
第10回 新	<u>・ファーストトレーニング・</u>	+尿沈渣スラ	イド				坂口 みどり
第11回 新	ファーストトレーニング・	+尿沈渣スラ	イド				坂口 みどり
第12回 新	<u>・ファーストトレーニング・</u>	+尿沈渣スラ	イド				坂口 みどり
第13回 新	<u>・ファーストトレーニング・</u>	+尿沈渣スラ	イド				坂口 みどり
第14回 新	<u>・ファーストトレーニング・</u>	+尿沈渣スラ	イド				坂口 みどり
第15回 新	ファーストトレーニング・	+尿沈渣スラ	イド				坂口 みどり

_										
区分	臨床•専門分野	授業科目名	ħ	倹査管理総	論(管理/機器)	単位数	1単位			
対象学年	3年次	開講時期		前期(後期 通年	講義形態	講義 実習			
担当教員名	諸隈 博	実務経験	有無	実務経験 内容	検体検査から生理検査 技師長職としての検査		▶的な経験があり、また)経験を有する。			
①検査機器総	授業の目的・目標 ①検査機器総論を理解する。 ②検査管理総論を理解する。 ③国 ・出欠状況 ・単位認定試験 ・卒業認定試験 家試験合格を目指す。									
授業の概要・持 ①検査機器総 形式の問題で	検査機器 検査総合	総論/医歯薬出版 管理学								
		授	業計画				講師			
						•	=±7用 1±			

授業計画	講師
第1回 国試対策 機器総論①(化学容量器、秤量装置)、問題	諸隈 博
第2回 国試対策 管理総論①(第1~3章)、問題	諸隈 博
第3回 国試対策 機器総論②(遠心分離装置、分離分析装置)、問題	諸隈 博
第4回 国試対策 管理総論②(第4章)、問題	諸隈 博
第5回 国試対策 機器総論③(滅菌装置)、問題	諸隈 博
第6回 国試対策 管理総論③(第5章)、問題	諸隈 博
第7回 国試対策 機器総論④(測光装置)、問題	諸隈 博
第8回 国試対策 管理総論④(第6章)、問題	諸隈 博
第9回 国試対策 機器総論⑤(顕微鏡装置)、問題	諸隈 博
第10回 国試対策 管理総論(⑤(第7章)、問題	諸隈 博
第11回 国試対策 機器総論⑥(電気化学装置、純水装置)、問題	諸隈 博
第12回 国試対策 管理総論⑥(第8章)、問題	諸隈 博

区分	臨床·専門分野	授業科目名	検3	查技術学 演	習(微生物検査学)	単位数	1単位
対象学年	3年生	開講時期		前期・	後期 通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	横溝 勝	実務経験	有 無	実務経験 内容	国立長崎長崎中央病院 国立嬉野病院 9年 国立小倉病院 2年 微生物検査に従事	兒 1年6カ月	
授業の目的・	目標				成績評価の方法		
	数に向けて心構えと1・ で学習を活かし、さらに		単位認定試験・出席点				
学習を行う。	. チョッカック、そのに	ᇧᄧᅂᄆᄧᄼᅜ		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			

授業の概要・授業方針

テキスト・参考資料等

益如、教利事 古心	
前期:教科書中心	最新臨床検査学講座 微生物学/臨床微生物学(医歯薬
後期:各項目に対してのまとめ、試験を行いながら国家試験対策を 行う。	出版)
授業計画	講師
前期	
第1回 臨地実習の心構え。微生物検査の復習	横溝 勝
第2回 微生物検査の復習	横溝 勝
第3回 微生物検査の復習	横溝 勝
後期	
第1回 総論/分離·携帯·構造	横溝 勝
第2回 総論/染色法・培養・培地	横溝勝
第3回 総論/遺伝と変異・消毒・滅菌	横溝 勝
第4回 総論/薬剤感受性	横溝 勝
第5回 総論/薬剤感受性	横溝勝
第6回 総論/感染と発症	横溝 勝
第7回 各論/Gram陽性球菌・陰性球菌	横溝 勝
第8回 各論/Gram陰性桿菌	横溝 勝
第9回 各論/Gram陽性桿菌	横溝 勝
第10回 各論/嫌気性菌·真菌	横溝 勝
第11回 各論/ <i>Mycoplasa•Rickettsia•Chlamydia</i>	横溝 勝
第12回 国試対策 問題解説	横溝 勝
第13回 国試対策 問題解説	横溝 勝
第14回 国試対策 問題解説	横溝 勝
第15回 国試対策 問題解説	横溝 勝
第16回 国試対策 問題解説	横溝勝
第17回 国試対策 問題解説	横溝 勝
第18回 国試対策 問題解説	横溝 勝
第19回 国試対策 問題解説	横溝 勝

区分	医療秘書科	授業科目名	医療事務 時間数			132	
対象学年	1年	開講時期		前期・後期・通年 講義派			講義・実習
担当教員名	田平 千歳	実務経験	有無	実務経験 内容	・医療機関での受付・レセプトの作成・点検・医事コンピューター入		
授業の目的・目標 ・医療保険制度の理解 ・レセプト作成 ・メディカルクラーク検定試験対策					成績評価の方法 ・出席状況 ・授業態度 ・確認小テスト ・定期試験		
授業の概要・授業方針 受付からレセプト業務まで、医療事務の基礎を学ぶ。 メディカルクラークの取得を目指す。				テキスト・参考資料等 ・医療事務講座1~4・スタディブック ・診療点数早見表 ・ハンドブック ・資料配布			
授業計画							講師
≪前期≫							田平 千歳

授業計画	講師
≪前期≫	田平 千歳
1. 授業の進め方・メディカルクラークについて	田平 千歳
2. 医療機関と医事業務	田平 千歳
3.4. 医療保険制度	田平 千歳
5. 公費医療負担制度・介護保険	田平 千歳
6. 復習(1)	田平 千歳
7. 初診料	田平 千歳
8.9. 再診料・外来診療料	田平 千歳
10. 医学管理	田平 千歳
11. 在宅医療	田平 千歳
12.13. 投薬	田平 千歳
14. 復習(2)	田平 千歳
15. 初診料~投薬 レセプト作成	田平 千歳
16.17. 注射	田平 千歳
18. 初診料~注射 レセプト作成	田平 千歳
19.20. 処置	田平 千歳
21. 復習(3)	田平 千歳
22. 初診料~処置 レセプト作成	田平 千歳
23.24.25 手術・麻酔	田平 千歳
26. 復習(4)	田平 千歳
27.28. 初診料~手術・麻酔 レセプト作成	田平 千歳
<u>29.30.31 検査(検体検査)</u>	田平 千歳
32.33 検査(生体検査)	田平 千歳
34. 病理診断	田平 千歳
35. 復習(5)	田平 千歳
36.37.38 初診料~検査 レセプト作成	田平 千歳
39.40. 画像診断	田平 千歳
41. 復習(5)	田平 千歳
42.43.44 初診料~画像診断 レセプト作成	田平 千歳
45. リハビリ・精神科・放射線	田平 千歳

46. 復習(6)田平 千歳47. 中間テスト田平 千歳48.49. 入院田平 千歳50. 復習(7)田平 千歳51. 入院レセプト作成田平 千歳52. 入院レセプト作成田平 千歳53. 復習(8)田平 千歳54. 外来レセプト点検田平 千歳55. 入院レセプト点検田平 千歳
150. 本語
50. 復習(7) 田平 千歳 51. 入院レセプト作成 田平 千歳 52. 入院レセプト作成 田平 千歳 53. 復習(8) 田平 千歳 54. 外来レセプト点検 田平 千歳
51. 入院レセプト作成 田平 千歳 52. 入院レセプト作成 田平 千歳 53. 復習(8) 田平 千歳 54. 外来レセプト点検 田平 千歳
51. 大院レセプト作成 田平 千歳 52. 入院レセプト作成 田平 千歳 53. 復習(8) 田平 千歳 54. 外来レセプト点検 田平 千歳
53. 復習(8) 田平 千歳 54. 外来レセプト点検 田平 千歳
54. 外来レセプト点検 田平 千歳
95. //ADEDI MIX
田平 千歳
55. 人院レセント 点検
56. 試験対策問題1 田平 千歳
57. 試験対策問題2 田平 千歳
58. 試験対策問題3 田平 千歳
59. 試験対策問題4 田平 千歳
60. 試験対策問題5
61. 総復讐 田平 千歳
62. 模擬テスト1 田平 千歳
63. 模擬テスト2 田平 千歳
64. 模擬テスト3 田平 千歳
65. 模擬テスト4 田平 千歳
66. 模擬テスト5 田平 千歳

区分	医療秘書科	授業科目名		医療実務			50
対象学年	1年	開講時期		前期・	後期 • 通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	田平 千歳	実務経験	有無	実務経験 内容	・医療機関での公費の ・関係機関の書類作成		務
授業の目的・目標 ・医療保険制度の理解 ・病院組織等の理解 ・医療秘書検定対応					成績評価の方法 ・出席状況 ・授業態度 ・定期試験		
授業の概要・授業方針 医療機関内の組織を理解する。関係機関の書類作成ややり取りを 理解する。医療秘書検定試験の対策を行う。					テキスト・参考資料等 ・「医療秘書」「医療概認 ・「医療事務に必要な医・資料配布	_	典」

授業計画	講師
≪前期≫	
1. 日本の医療	田平 千歳
2. 医療界の現状	田平 千歳
3. 今後の展望	田平 千歳
4. 欧米の医療秘書	田平 千歳
5. 日本の医療秘書	田平 千歳
6. 医療秘書の役割	田平 千歳
7. 医療機関が求める人材	田平 千歳
8. 患者受付業務	田平 千歳
9. 医療とICT	田平 千歳
10. 復習	田平 千歳
11. 中間テスト	田平 千歳
12. 医療秘書が把握すべきもの	田平 千歳
13. プライマリケア・DPC・ターミナルケア	田平 千歳
14. 医療法と医療提供施設	田平 千歳
15. 16. 17. 医療提供施設の定義と分類	田平 千歳
18. 医療関係者と法律	田平 千歳
19. 日本の医療保険の成り立ち	田平 千歳
20. 保険診療と診療報酬制度	田平 千歳
21. 公費負担医療制度	田平 千歳
22. 自由診療・混合診療・保険外併用療養	田平 千歳
23. 国民医療費・介護保険・後期高齢者医療制度	田平 千歳
24. 資料整理	田平 千歳
25. 資料整理・総復讐	田平 千歳

区分	医療秘書科	授業科目名	医療知識			時間数	90
対象学年	1年	開講時期	ĺ	前期・ 後	後期・ 通年	講義形態	講義)実習
担当教員名	古田·清水·東	実務経験		務経験 内容	検体検査全般、細菌検	査、輸血検	査、採血業務
授業の目的・目標					成績評価の方法		
 現場で求められる是低限の基礎的・基本的な医学知識の翌得と 医							

現場で求められる最低限の基礎的・基本的な医学知識の習得と、医療秘書検定3級・2級合格。 環秘書検定3級・2級合格。

授業の概要・授業方針

①担当講師による講義と、グループワークを通して理解を深め、医療人としての常識的な会話ができるよう努力する。

②医療秘書検定3級・2級に沿った内容による対策。

テキスト・参考資料等

基礎医学(医療秘書教育全国協議会)

授業計画	講師
①医療知識分野について	古田·清水·東
②総論	古田・清水・東
③神経系	古田・清水・東
④感覚器系	古田・清水・東
⑤循環器系	古田・清水・東
⑥血液系(血液検査プチ実習含む)	古田・清水・東
⑦骨格系	古田・清水・東
⑧筋系	古田·清水·東
⑨腎・泌尿器系	古田·清水·東
⑩内分泌系	古田·清水·東
⑪免疫系	古田·清水·東
②呼吸器系(呼吸機能検査プチ実習含む)	古田·清水·東
1〕消化器系	古田·清水·東
①生殖器系	古田·清水·東
①感染症	古田·清水·東
16栄養	古田·清水·東
①病理学検査	古田·清水·東
18各分野別総復習	古田·清水·東
⑨中間試験対策	古田·清水·東
⑩期末試験対策	古田·清水·東
計 45 コマ	

区分	医療秘書科	授業科目名	患者接遇 時			時間数	20	
対象学年	1年	開講時期		前期・	後期 • 通年	講義形態	講義・実習	
担当教員名	田平 千歳	実務経験	有無	実務経験 内容		Dホスピタリティマ <u>:</u>	ナー講義	
受業の目的・ 応対の基本 言葉遣いの基 メディカルクラ		态			成績評価の方法 ・出席状況 ・授業態度 ・定期試験	į		
受業の概要・技 患者接遇の基 身に着ける。	受業方針 基本を学び、就業に向	- けて社会人と	こしての「	マナーを	テキスト・参考資・医療事務講座「 ・資料配布	料等 [「] 患者接遇マナー」		
		授	業計画				講師	
. 患者接遇 <i>0</i> .)基本						田平 千歳	
. コミュニケー	ーションの取り方						田平 千歳	
. メディカルク	フラーク・実技 Ⅰ 対策[問題					田平 千歳	
. メディカルク	フラーク・実技Ⅰ対策[問題					田平 千歳	
<u>. メディカルク</u>	プラーク・実技 I 対応問	問題					田平 千歳	

区分	医療秘書科	授業科目名		接遇実習 時間数			20	
対象学年	1年	開講時期	ı	前期・	後期 •	通年	講義形態	講義 実習
担当教員名	田平 千歳	実務経験	有無	実務経験 内容		聚機関等でのホ ス	スピタリティマ	マナー講義
授業の目的・目標成績評価の方法・ 受付での基本対応・出席状況・ 電話での基本対応・授業態度・ 定期試験								
授業の概要・授業方針 様々な設定でのロールプレーイングを行い、現場での対応に 近づけていく。特に電話対応に苦手意識を持たないように練習を 行う。								
授業計画						講師		
≪前期≫								
1. 受付対応の基本						田平 千歳		

授業計画	講師
≪前期≫	
1. 受付対応の基本	田平 千歳
2. 受付対応(ケーススタディ)	田平 千歳
3. 受付対応(ケーススタディ)	田平 千歳
4. 受付対応(ケーススタディ)	田平 千歳
5. 電話の受け方・かけ方	田平 千歳
6. 電話での対応(道案内)	田平 千歳
7. 電話での対応(検査結果)	田平 千歳
8. 電話での対応(取次ぎ·伝言)	田平 千歳
9. 電話での対応(復習)	田平 千歳
10. 中間テスト(電話での対応)	田平 千歳

区分	医療秘書科 授業科目名			秘書理論			時間数	28	
対象学年	1年	開講時期		前期・			講義形態	講義・実	晋
担当教員名	田平 千歳	実務経験	有無	実務経験 内容	・医療・スケシ ・ 資料・	機関等での3 ジュール管理 作成	来客対応 !		
受業の目的・				<u> </u>		呼価の方法			
·サービス接遇					出席授業				
ビジネス文書ビジネスマナ	·快疋刈束 一や一般常識				・定期				
授業の概要・ 抗 社会人として	受業方針 ・必要なマナーや事系	务能力を身に 着	計ける。		·サー	ト・参考資料 ビス接遇検定 トス文書検定	₹3級公式テキスト		
		授	業計画					講師	
1. サービスス	タッフの資質							田平 千	歳
2. 一般知識・	専門知識							田平 千	歳
3. 対人技能・								田平 千	歳
	遇検定過去問題・鵤							田平千	歳
5. 表記技能								田平 千	歳
6. 表現技能								田平千	歳
7. 実務技能								田平千	歳
	ービス接遇検定過去	問題•解説•復	'習					田平千	歳
11. 復習•練習		11-17C 11 11/0 12C						田平千	歳
	ジネス文書検定過	去問題•解説•	復習					田平千	歳
							+		

区分	医療秘書科	授業科目名		Excel実習			40	
対象学年	1年生	開講時期		前期・	後期・ 通年	講義形態	講義(実習)	
担当教員名	下釜 綾子	実務経験	有-無	実務経験 内容	企業研修・公共職業訓 講座の講師を務めた。	練校・大学	等で、Microsoft Office	
授業の目的・目標 Excelの基本的な機能である、表の作成や数式の入力・グラフ・データベースの操作などを学習する。 さらに効率的な関数の活用や視覚的効果のある書類作成を行い、 実務で活用できる知識と技能を習得する。					成績評価の方法 受講中の操作状況、成果物の完成度などで習得度を確認し、評価を行う。			
	受業方針 iを使用し、基本的な掠 イントを解説し、授業を		テキスト・参考資料等 よくわかるExcel基礎(F よくわかるWord&Excel		プ問題集(FOM出版)			

授業計画	講師
Excelの基本	下釜 綾子
データーの入力	下釜 綾子
表の作成	下釜 綾子
表の編集	下釜 綾子
印刷とページレイアウト	下釜 綾子
グラフの作成	下釜 綾子
データーベース操作	下釜 綾子
複数シート操作	下釜 綾子
関数の活用	下釜 綾子
表示形式	下釜 綾子
マクロの作成	下釜 綾子
データの保存とファイル形式の変更	下釜 綾子
図やオブジェクトの挿入	下釜 綾子
データーの活用力向上	下釜 綾子
効果的な書類作成	下釜 綾子
ビジネス文書実践	下釜 綾子

区分	医療秘書科	授業科目名	手話		手話	時間数	20		
対象学年	1年	開講時期		前期・	後期 • 通年	講義形態	講義・実習		
担当教員名	平 恵里子	実務経験	有 無	実務経験 内容	長崎市手話講習会にお	らいて講師を	を務める。		
* 学習を通し * 聴覚障害	* 聴覚障害者とコミュニケーションができるよう技能習得を目指す。					成績評価の方法 授業態度と定期試験を総合的に評価			
	受業方針 章害者への理解を深め さつ」や「自己紹介」な		テキスト・参考資料等 「聴さんと学ぼう」						

	講師		
	講義	実技	
第1回	挨拶 オリエンテーション	「あいさつ」	通常講師
第2回	聴覚障害者とは?	「名前」	"
第3回	耳の役割と聞こえの仕組み	「数字」	"
第4回	コミュニケーション方法	「家族」	"
第5回	手話のなりたち	「住所」	"
第6回	講義「聴覚障害者の生活」		〃 聴覚障害者
第7回	聴覚障害者の生活(家庭)	「生活」	"
第8回	聴覚障害者の生活(学校)	「趣味」	"
第9回	聴覚障害者の生活(地域)	「場所・乗り物」	"
第10回	~前期講座の復習~		"

区分	医療秘書科	授業科目名		検	定対策	時間数	10
対象学年	1年	開講時期		前期・	後期 • 通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	田平 千歳	実務経験	有無	実務経験 内容	・医療事務講座での ・職業訓練講義での	検定試験対策 検定試験対策	指導 指導
授業の目的・ ・各検定試験®					成績評価の方法 ・出席状況 ・授業態度 ・検定試験結果		
授業の概要・ 持 各検定試験 ¹	受業方針 取得のために復習を行	すう 。			テキスト・参考資料 ・ ・資料配布 ・確認・練習問題配布		
		授	業計画				講師
≪前期≫							
1. 各検定試験							田平千歳
2. サービス接							田平 千歳
3. ビジネス文							
4. メディカルク							田平 千歳
5. メディカルク	フラーク対束						ш I 1/22

区分	医療秘書科	授業科目名	就職実務			時間数	20	
対象学年	1年	開講時期	(前期・	後期 • 通年	講義形態	講義・実習	
担当教員名	田平 千歳	実務経験	有無	実務経験 内容	・職業訓練講義でのキー・履歴書、ジョブカード等			
授業の目的・1 ・医療事務職の・自己分析と自・社会人として	の理解				成績評価の方法 ・出席状況 ・授業態度 ・文書作成			
授業の概要・授業方針 社会人としての基本マナーを身につける。就業に向けて応募書類 作成の充実を図り、模擬面接などを行う。					テキスト・参考資料等 ・資料配布			

	講師
《前期》	2
<u> </u>	田平 千歳
2 社会人基礎カ 自己理解(ライフライン) プラスアルファを見つける	田平 千歳
3 自己PR作成 作文「私のセールスポイント」	田平 千歳
4 自己紹介書作成	田平 千歳
5 自己紹介書作成 履歴書作成	田平 千歳
6 履歴書作成	田平 千歳
7 面接事項	田平 千歳
8 面接練習	田平 千歳
9 模擬面接(ハローワーク)	田平 千歳
10 模擬面接(ハローワーク)	田平 千歳

区分	医療秘書科	授業科目名	病院実習オ	・リエンテーション	時間数	10
対象学年	1年	開講時期	前期・	後期 通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	田平 千歳	実務経験	実務経験 内容	・医療機関等でのホ	スビタリティマナ	一講義
授業の目的・	標	<u> </u>		成績評価の方法		
・病院実習の3				·出席状況 ·授業態度		
授業の概要・持				テキスト・参考資料等	等	
	おける基礎的なマナー ョンを図り、就業に向			- 資料配布		
		授業	計画			講師
1. 実習につい	て					田平 千歳
2. 学生票準備	#					田平 千歳
3. 学生票記 <i>]</i>	(田平 千歳
4. 実習先への)電話連絡の仕方・練	:習				田平 千歳
5. 実習ノート(の書き方 お礼状に	ついて				田平 千歳
					-	

区分	医療秘書科	授業科目名	医療事務 時			時間数	100		
対象学年	1年	開講時期		前期・〇	後期・通年	講義形態	講義・実習		
担当教員名	田平 千歳	実務経験	有無	実務経験 内容	・医療機関での受付 ・レセプトの作成・点検! ・医事コンピューター入				
授業の目的・ ・医療保険制度・レセプト作成・医療秘書検疑・調剤事務管理・	で 変の理解 定対策				成績評価の方法 ・出席状況 ・授業態度 ・確認小テスト ・定期試験				
医科は正確な	授業の概要・授業方針 医科は正確な外来・入院レセプトを作成する。調剤事務は基本的知識の習得と調剤レセプトを作成する。					テキスト・参考資料等 ・医療事務講座1~4・スタディブック ・診療点数早見表 ・調剤事務テキスト ・資料配布			
	授業計画								

授業計画	講師
≪後期≫	
1. 医療保険制度	田平 千歳
2. 調剤薬局での事務の仕事	田平 千歳
3. 公費·労災·介護保険	田平 千歳
4. 復習(1)	田平 千歳
5. 薬の基礎知識	田平 千歳
6. 薬局の基礎知識	田平 千歳
7. 調剤基本料	田平 千歳
8. 各加算について	田平 千歳
9. 薬学管理料	田平 千歳
10. 復習(2)	田平 千歳
11. レセプト作成練習①	田平 千歳
12. レセプト作成練習②	田平 千歳
13. レセプト作成練習③	田平 千歳
14. レセプト作成練習④	田平 千歳
15. レセプト作成練習⑤	田平 千歳
16. 復習(3)	田平 千歳
17. 調剤事務管理士検定対策問題①	田平 千歳
18. 調剤事務管理士検定対策問題②	田平 千歳
19. 調剤事務管理士検定対策問題③	田平 千歳
20. 調剤事務管理士検定対策問題④	田平 千歳
21. 模擬テスト1	田平 千歳
22. 模擬テスト2	田平 千歳
23. 模擬テスト3	田平 千歳
24. 模擬テスト4	田平 千歳
25. 模擬テスト5	田平 千歳
26. 復習1(初診・再診)	田平 千歳
27. 復習2(医学管理・在宅)	田平 千歳
28. 復習3(投薬・注射)	田平 千歳
29. 復習4(処置)	田平 千歳

	m 亚 子 华
30. 復習5(検査·病理診断)	田平 千歳
31. 復習6(手術・麻酔・輸血)	田平 千歳
32. 復習7(画像診断)	田平 千歳
33. 復習8(レハビリ・精神科・放射線)	田平 千歳
34. 復習9(入院)	田平 千歳
35. 外来レセプト作成・学科問題	田平 千歳
36. 入院学科問題	田平 千歳
37. 入院レセプト作成	田平 千歳
38. 外来レセプト作成・学科問題	田平 千歳
39. 入院学科問題	田平 千歳
40. 入院レセプト作成	田平 千歳
41. 外来レセプト作成・学科問題	田平 千歳
42. 入院学科問題	田平 千歳
43. 入院レセプト作成	田平 千歳
44. 復習(1)	田平 千歳
45. 復習(2)	田平 千歳
46. 医療秘書検定・模擬テスト1	田平 千歳
47. 医療秘書検定・模擬テスト2	田平 千歳
48. 医療秘書検定・模擬テスト3	田平 千歳
49. 医療秘書検定・模擬テスト4	田平 千歳
50. 医療秘書検定・模擬テスト5	田平 千歳

区分	医療秘書科	授業科目名	医療実務			時間数	40	
対象学年	1年	開講時期		前期・	後期・通年	講義形態	講義・実習	
担当教員名	田平 千歳	実務経験	・医療機関での公費の取り扱い業務 ・関係機関の書類作成等 内容					
授業の目的・目標 ・医療保険制度の理解 ・病院組織等の理解 ・医療秘書検定対応					成績評価の方法 ・出席状況 ・授業態度 ・定期試験			
授業の概要・授業方針 医療機関内の組織を理解する。関係機関の書類作成ややり取りを 理解する。医療秘書検定試験の対策を行う。					テキスト・参考資料等 ・「医療秘書」「医療概論 ・「医療事務に必要な医・資料配布		典」	

授業計画	講師
≪後期≫	
1. 復習1(医療秘書が把握すべきもの)	田平 千歳
2. 復習2(医療の実際)	田平 千歳
3. 復習3(医療法と医療提供施設)	田平 千歳
4. 復習4(医療保険制度)	田平 千歳
5. 復習5(保険診療と自由診療・公費)	田平 千歳
6. 中間テスト	田平 千歳
7. 医療秘書検定試験対策問題1(3級)	田平 千歳
8. 医療秘書検定試験対策問題2(3級)	田平 千歳
9. 医療秘書検定試験対策問題3(3級)	田平 千歳
10. 医療秘書検定試験対策問題4(2級)	田平 千歳
11. 医療秘書検定試験対策問題5(2級)	田平 千歳
12. 医療秘書検定試験対策問題6(2級)	田平 千歳
13. 模擬テスト1(3級)	田平 千歳
14. 模擬テスト2(2級)	田平 千歳
15. 模擬テスト3(3級)	田平 千歳
16. 模擬テスト4(2級)	田平 千歳
17. 模擬テスト5(3級)	田平 千歳
18. 模擬テスト6(2級)	田平 千歳
19. 模擬テスト7(3級)	田平 千歳
20. 模擬テスト8(2級)	田平 千歳

区分	医療秘書科	授業科目名	<u>医</u>	療知識	時間数	60		
対象学年	1年	開講時期	前期 •	前期 後期 通年 講義形態				
担当教員名	担当教員名 古田·東 実務経験 有無 実務経験 内容 検体検査全般、細菌検査、輸血検							
授業の目的・	目標	I		成績評価の方法				
	現場で求められる最低限の基礎的・基本的な医学知識の習得と、医 療秘書検定3級・2級合格。							
授業の概要・技			大田柳大河水 医	テキスト・参考資料等				
療人としての常	よる講義と、グループ 常識的な会話ができる 定3級・2級に沿った内	よう努力する	0	基礎医学(医療秘書教	育全国協諱	会)		
			 業計画					
	 S-章ごと)					古田·東		
	 / 定3級・2級対策(練習	問題)				古田·東		
	定3級・2級対策(解答					古田·東		
④期末試験対						古田·東		
⑤プチ実習(尿						古田·東		
⑥生理機能検	査実習室見学					古田·東		
練習問題•解答	答解説が主。							
計 30 コマ								

区分	医療秘書科	授業科目名	接遇実習 時間数			1	14		
対象学年	1年	開講時期		前期 •	後期・	通年	講義形態	講義	実習
担当教員名	田平 千歳	実務経験	有無	実務経駅 内容		機関等での	ホズピタリティマラ	ナー講義	
授業の目的・ ・ 受付での基 ・ 電話での基	本対応		l		成績評 •出席物 •授業態 •定期記	態度			
	授業方針 でのロールプレーイン [・] 特に電話対応に苦手						等 者接遇マナー」		
		授	業計画					訓	師
≪後期≫									
1. グループテ	ディスカッション(接遇に	ついてのプレ	/ゼンテ-	ーション)					千歳
2. プレゼンテ	ーション準備								千歳
3. プレゼンテ	ーション準備								千歳
4. プレゼンテ	ーション準備								千歳
5. プレゼンテ	ーション								千歳
6. 認知症講座	<u>率</u>								千歳
7. 車イス操作	実習							田平	千歳

区分	医療秘書科	授業科目名		Word実習		時間数	30
対象学年	1年生	開講時期		前期 •	後期・通年	講義形態	
担当教員名	下釜 綾子	実務経験	有-無	実務経験 内容	企業研修・公共職業訓 講座の講師を務めた。	練校・大学	等で、Microsoft Office
授業の目的・目標 基本的な文書作成やレイアウトの設定、図や表の挿入やグラフィックを使った文書作成の技法をWordを活用し作成する知識と技術を身に付ける。 また、文書校正などレポート作成などにも活用できる知識や文書作成のルール及び、プレゼンテーション技法も習得する。					成績評価の方法 受講中の操作状況、成 認し、評価を行う。	果物の完成	或度などで習得度を確 がままれる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
					テキスト・参考資料等 よくわかるWordl基礎(FOM出版)		

テキストと課題を使用し、基本的な操作から、実務に即した処理や 作成方法のポイントを解説し、授業を進行する。

よくわかるWord基礎(FOM出版) よくわかるWord&Excelスキルアップ問題集(FOM出版)

授業計画	講師
Wordの機能と文書作成基礎	下釜 綾子
文字の入力と変換	下釜 綾子
印刷とページレイアウト	下釜 綾子
図や表の挿入	下釜 綾子
書式設定	下釜 綾子
表の作成と編集	下釜 綾子
文書の表現力をアップさせる機能	下釜 綾子
ビジネス文書のルールと書き方	下釜 綾子
オブジェクトの挿入	下釜 綾子
	下釜 綾子
プレゼンテーションとは	下釜 綾子
PowerPointの基礎操作	下釜 綾子
プレゼンテーションの構成	下釜 綾子
訴求力の高い発表資料の作成	下釜 綾子

区分	医療秘書科	授業科目名	手	話	時間数	20
対象学年	1年	開講時期	前期·後	期・通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	平 恵里子	実務経験	有無 実務経験 内容		会において	講師を務める。
超業の日的	7 /画			一成績製価の大法		

|授業の目的・目標

- * 学習を通して聴覚障害者への理解を深める。
- * 聴覚障害者とコミュニケーションができるよう技能習得を目指す。
- * 全国手話検定試験5級合格を目指す。

| 成績評価の方法 |授業態度と定期試験を総合的に評価

授業の概要・授業方針

講義・・・聴覚障害者への理解を深める。

実技・・・「あいさつ」や「自己紹介」などを復習しながら学習する。

テキスト・参考資料等

「聴さんと学ぼう」

	授業計画		講師
	講義	実技	
第11回	復習(夏休みの思い出)	「災害・時間」	通常講師
第12回	聴覚障害者の生活 (社会・盲ろう者)	「仕事・週・月」	"
第13回	ろう講師による手話学習		〃 聴覚障害者
第14回	ろうあ運動について	「季節・天候」	"
第15回	病院受付での対応 ・ 手話検定説明	「病気」	"
第16回	全国手話検定試験に向けて/(面接練習)(DVDでの学	2智)	〃 聴覚障害者
第17回	グループワーク(ポスター作り・発表)	「色」	11
第18回	グループワーク(聴覚障害者へのあいさつを考える)	「コミュニケーション」	"
第19回	コミュニケーション体験 (聴覚障害者との交流会)		〃 聴覚障害者
第20回	~後期講座の復習~		"
第21回	テスト		"

区分	医療秘書科	授業科目名	検定対策 時間			時間数	50)
対象学年	1年	開講時期		前期・(後期・通年	講義形態		
担当教員名	岩永 大樹	実務経験	有無	実務経験 内容	長崎県下にて医療 び電子カルテ導入 資格:日医IT認定?	(25件)経験あ	IJ	
授業の目的・	標		<u> </u>		成績評価の方法			
②「日医IT日レ	コンピュータを用いて セ操作実務者」の認 3製品を用いて、医療	定試験合格を	目指す	去を習得	授業態度(出席状)	兄)		
求事務全般(F 内の医療機関	提供する「日医標準し 日常業務から請求業系 450件以上で利用さ テ事例を用いて講義を	务)を学びます れている医事	。ORCAI システム	ま長崎県 です。	テキスト・参考資料 医療事務テキスト 日医標準レセプトン		基本操作説明	書
		授	業計画				講自	师
(1) 日医標	準レセプトソフト(日レ	・セORCA) の	既要説明				岩永 大樹	
カルテ	事例実習1∙2						岩永 大樹	
(2) カルテ	事例実習3•4∙5						岩永 大樹	
(3) カルテ	事例実習6•7.8						岩永 大樹	
(4) カルテ	事例実習9. 10						岩永 大樹	
(5) 入力内	容の訂正方法						岩永 大樹	
	·策1·2·3						岩永 大樹	
	·策4·5·6						岩永 大樹	
	 ⁻ 策7∙8						岩永 大樹	
	·策9·10						岩永 大樹	
(10) 日医認	ニューニー	事前講習					岩永 大樹	
(11)電子力	ルテの概要説明、OF	RCA連動型電	子カルテ	、一体型電			岩永 大樹	
(12)電子力	ルテの実習(EMシス	テムズ Maps	for Clinic	c)			岩永 大樹	
	ルテの実習(エムス!			•			岩永 大樹	
		-						

区分	医療秘書科	授業科目名	就職実務 時			時間数	6
対象学年	1年	開講時期		前期(後期・通年	講義形態	講義・実習
担当教員名	田平 千歳	実務経験	有無	実務経験 内容	・職業訓練講義でのキ ・履歴書、ジョブカード	・ャリアコンサ 等の作成指	・ルティング 導
授業の目的・ ・医療事務職の・自己分析と自・社会人として							
授業の概要・抗 社会人として 作成の充実を							
		授	業計画				講師
≪後期≫							
1. 履歴書・自		+ D # +					田平 千歳
	<u>て① 求められる人材</u> て② 職場でのコミュニ						田平 千歳
3. 社芸人とし	て区 戦場でのコミエー	<u> </u>					